2023.4.18 時点

資料２－１

くまもと
流域治水プロジェクト

住民も企業も行政も
みんなで力を合わせるよ

みんなで助け合って
みんなの命をまもるんだ

くまもと流域治水プロジェクト推進連絡会
事務局

熊本は自然がいっぱいあるんだモン

熊本県内の主な流域

日本では、ほとんどの人が「流域」の中に暮らしています。自分の家、会社や学校が流域の中でどんなところにあるのか、水災害のリスクの観点から意識してみましょう。

いろんな流域があるんだモン！

©2010 熊本県くまモン

流域って？

その地形に降った雨が川に集まる範囲のことです。

＊山の一番高い部分の連なり（尾根）が流域の分かれ目です。

熊本県

菊池川流域

菊鹿盆地

福岡県南筑後圏域

筑後川流域

大野川流域

白川流域

（阿蘇カルデラ）

菊鹿盆地が中流にあるよ。菊池川流域の水がまずここに集まって、そのあと玉名平野を流れるよ。

きくち川くん

しら川くん

玉名圏域

熊本市

熊本圏域

宇城圏域

有明海

五ヶ瀬川流域

阿蘇カルデラを中心として、外輪山の内側を流れるのが白川や黒川で、その外輪山の南側が緑川流域になるよ。水は熊本市内を流れるよ。

緑川流域

みどり川くん

天草圏域

八代圏域

人吉（球磨）盆地が中流にあるよ。球磨川流域の水がまずここに集まって、そのあと八代平野に流れるよ。

球磨川流域

人吉（球磨）盆地

くま川くん

芦北圏域

大淀川流域

凡 例
：県境
：流域界
：河川（本川）
：圏域

各河川の概要はQRコードから見ることができます。

菊池川について

白川について

緑川について

球磨川について

？流域治水とは？

「流域に関わるみんなで行う水災害対策」のことです。

？なぜ今、流域治水が必要なのか？

気候変動により水災害が頻発化・激甚化しているから！

近年、大雨による災害が増えたと思いませんか？
雨の降り方が変わったと感じませんか？
ここ日本でも、すでに温暖化の大きな影響を受けています。
気候変動により、各地で毎年のように大規模な水害が発生し、
甚大な人的被害や経済損失をもたらしています。

大型の台風 線状降水帯の発生※1
将来的には日本付近での台風の強さは強まり、台風による降水量は増える予測が出ています。

短時間強雨（時間雨量 50mm 以上）の発生回数※2
過去40年で約1.5倍

海面平均水温の上昇※2
100年あたり0.85～1.30℃上昇！

経済損失額※3
水害被害額は、統計開始以来最大2兆1,800億円（令和元年度）

※1 出典：日本の気候変動 2020（詳細版）、※2 出典：熊本県の気候変動「日本の気候変動 2020」（文部科学省・気象庁）に基づく地域の観測・予測情報リーフレット、※3 出典：令和３年度版国土交通白書

平成２９年７月 九州北部豪雨

線状降水帯が発生し、記録的な大雨となっただけでなく、人的被害も大きなものとなりました。特に朝倉市では集中豪雨となり、河川は氾濫し、甚大な被害が生じました。

桂川における浸水被害（福岡県 朝倉市）

令和元年８月 前線に伴う大雨

九州北部の広い範囲で秋雨前線による線状降水帯が発生し、記録的な大雨となりました。特に佐賀県を中心に３時間及び６時間降水量が観測史上１位を更新するなど、記録的な大雨となりました。

六角川周辺における浸水被害状況（佐賀県 大町町）

令和２年７月 豪雨

停滞していた前線の影響により、各地で記録的な大雨となりました。球磨川など大河川で氾濫が発生し、人的・物的被害が発生しました。

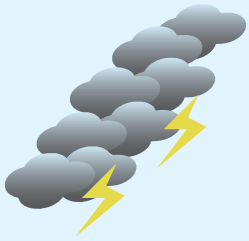
球磨川における浸水被害状況（熊本県 人吉市）

今後、気候変動はさらに大きな影響をもたらすと予測されています。
そのため「くまもと流域治水プロジェクト」を立ち上げました。

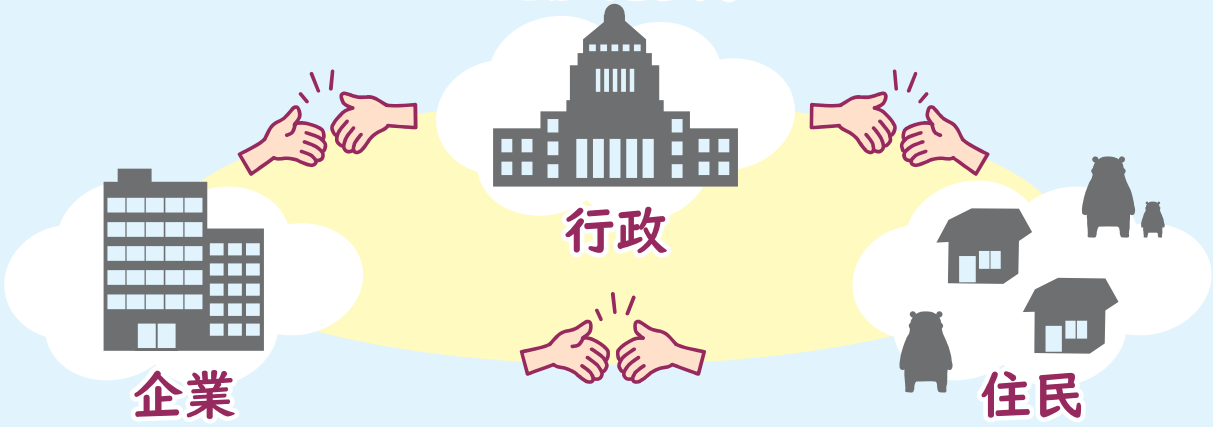
？流域治水って誰のためにやるのか？

「自分」と「大切な人」、「住んでいるまち」を守るため！

気候変動により熊本でも
災害クラスの大雨が頻発しています。
これまで経験したことがないような洪水が
“いつ・どこで・どのように”
起こるか分からないということが生じており、
行政で行ってきたこれまでの治水対策だけでは、
洪水被害を防ぎきれない時代となっています。



私たち一人ひとりが、「流域治水」に取り組むことで、
「自分」と「大切な人」、「住んでいるまち」を守る
ことができます。



これからは、行政だけではなく、企業や住民など、
“私たち一人ひとりも一体となって防災に取り組んで暮らす時代”です。
これが、「流域治水」という考え方です。

？流域治水って何をするの？

地域の被害を最小限にするために、
地域で協力したり、個人でできることから取組むことです。

？どんな違いがあるか

これまでの治水

これまでの治水対策は、築堤を築いたり、川幅を広げたり、その他、ダムの建設やポンプ場の設置、河川内の樹木伐採など、行政主体で行ってきました。

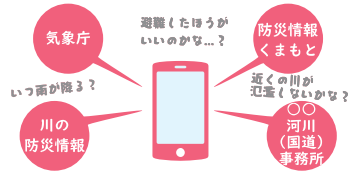
これからの流域治水

これからの流域治水は、これまでの治水対策に加えて、地域が協力して防災に取り組んだり、各家庭で雨水貯留や浸透に取り組むなど、みんなで取り組み、水害を防ぐという考え方です。

わたしたちができる取組み3本柱

まずは、自分や家族のこと

例）防災情報取得方法の確認



一番大事なことは、
「自分の命は自分で守る」ことです。
災害を自分事として捉え、事前に自分で何ができるのか考えることが大切です。
自分と家族の命を守るための情報をご紹介します。

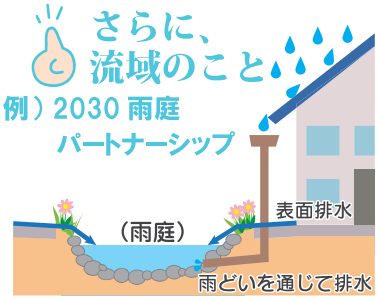
それから、地域のこと

例）地域防災リーダーの育成

流域治水は、
行政だけが取り組むものではありません。
これからは、自分たちの地域は自分たちで守ることが更に必要な時代となってきました。
地域で取り組める流域治水の対策をご紹介します。

さらに、流域のこと

例）2030 雨庭パートナーシップ



川が溢れないようにするには、
みんなで河川に流れ込む雨水の量を
少しでも減らすことが必要です。
流域のことを考えた
個人でも取り組める流域治水の
対策をご紹介します。

個人や各家庭の小さな取り組みが、やがて輪となって、近所の方や地域の方の命を守る大きな力となります。

「くまもと流域治水プロジェクト」の具体的な取り組みを見てみよう！

みんなで取り組む

くまもと流域治水

やるばい宣言！

熊本に住んでいる方（流域関係者）

まずは、自分や家族のこと

身の回りの水害危険性を確認し、自分や家族の命を守るための取組み

それから、地域のこと

近隣に暮らす人たちが協働し、一緒に地域の防災力を向上させるための取組み

さらに、流域のこと

誰でもできる、流域全体のことを考えた治水効果を発揮するための取組み

まずは、自分や家族のことを守るばい！

身の回りの水害危険性を確認し、自分や家族の命を守るための取組み

○ハザードマップ（避難所や避難経路）の確認

・「ハザードマップ」とは、水害時の浸水が予想される区域や避難場所を記したものです。
・安全かつ速やかに避難することができるよう事前に確認しておきましょう。

ハザードマップポータルサイト
QRコード

○家族の連絡方法の確認

・災害が起きた時の家族の避難場所を決めておきましょう。避難場所の連絡先も登録しておくと万が一誰かが避難できない場合にも連絡をとることができます。
・財布などに家族の連絡先のメモを入れておくとスマホが使えないときにも連絡が取れます。

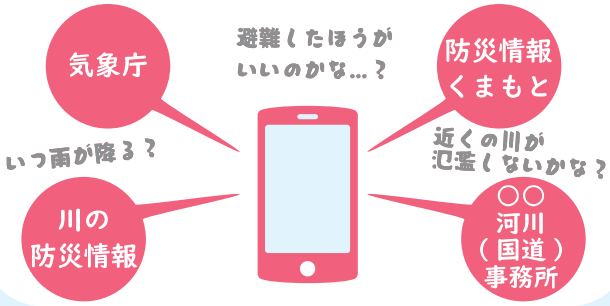
災害伝言ダイヤルは、
【録音】171 ＋ 1 ＋ 自分の電話番号
【再生】171 ＋ 2 ＋ 自分の電話番号

○備蓄品や非常持ち出し品の準備

・各家庭で、災害用品の備蓄を行い、年に一度は使用期限をチェックしましょう。
・それぞれ自分の状況に合わせて、必要なものをチェックしましょう。

○防災情報取得方法の確認

・スマホやパソコンで下記のワードを検索すると防災に役立つ情報を簡単にわかりやすく、しかも今必要な最新の情報を得られます。



○マイ・タイムラインの作成

・一人ひとりの水害に備えた行動を時系列で整理したものが、マイタイムラインです。
急な判断が迫られる災害時の自分自身の行動チェックリスト、また判断サポートとして役に立ちます。

国土交通省
マイ・タイムライン
QRコード
チェックしよう

○防災士の取得

・防災士とは、“自助・共助・協働”を基本理念とし、社会の様々な場面で防災力を高める活動を期待される人です。日本防災士機構の認証により、防災に関する十分な意識と一定の知識・技能を有しております。

2023年1月末時点で246,862人が資格を持っているよ。
合格率は91%なんだって！
僕も取ったよ！

防災士「日本防災士機構」で調べてね！

スマホで投票！
あなたはどの対策から取り組みますか？

それから、地域で協力するばい！

近隣に暮らす人たちが協働し、一緒に地域の防災力を向上させるための取組み

○自主防災組織の設立

・「自主防災組織」とは、「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神に基づき、地域住民が自主的に結成する組織のことです。

○コミュニティタイムライン作成

・コミュニティタイムラインとは、台風や大雨などの気象予報や河川の水位情報などを元に、地域住民の取るべき防災行動や避難のタイミングなど、「いつ・だれが・何をするか」を定めた行動計画のことです。

○防災に関する勉強会

・地域住民の方々と集い、みんなで防災について学ぶことで、共通意識をもって防災活動に取り組むことができます。

○避難（防災）訓練

・住民だけでなく企業やお店など地域全体で避難（防災）訓練を行うことでチーム力を高めることができます。

○防災教育

・行政職員や関係者などが学校や公民館などに出向き、防災に関する役立つ知識やアドバイスをしています。

○地域防災リーダーの育成

・災害が多い日本では、自分や地域の人たちの命を守ることができるように、地域で率先して防災活動を実践できる人材を育成する必要があります。
地域防災リーダーとして、平常時から地域の方とコミュニケーションを取り、災害時には先頭に立って安全や命を守る行動ができるよう助けます。

地域防災リーダーのくま川くんです。

○地域の災害危険箇所の把握と共有

・地域のみんなで事前に災害危険箇所を確認することにより、安全な避難ルートを確保したり、二次災害を避けることができたりします。

スマホで投票！
あなたはどの対策から取り組みますか？

さらに、

流域のこと考えるばい！

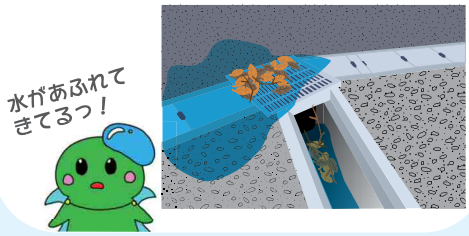
誰でもできる、流域全体のことを考えた治水効果を発揮するための取組み

○河川のゴミ、 流木撤去
○上流域での植樹や森の保全活動への参画

・森の保全活動を行う団体の活動に参加することもできます。
・土砂災害や下流への土砂が大量に流れ出すことへの抑制が期待できます。

○側溝、 排水溝の掃除

・側溝や排水溝に砂や落ち葉が溜まってしまうと、水の流れが悪くなり道路に水が溜まってしまいます。
大雨が降る前に確認して事前に掃除を済ませておくこともできます。



○雨庭バケツチャレンジ

・雨が降り始めたら庭にバケツを置いて雨水を貯めてみましょう。

雨が降り始めたら
庭にバケツをおいて
雨水を貯めて
みましょう。
１万人が２０Ｌの
バケツを２つ貯めると、
なんと小学校の
プール１杯分
以上になるよ。

○2030 雨庭パートナーシップ

・雨庭とは、庭に窪みを造り、そこに屋根に降った雨や地表に溜まる雨水を貯めるものです。

○透水性舗装

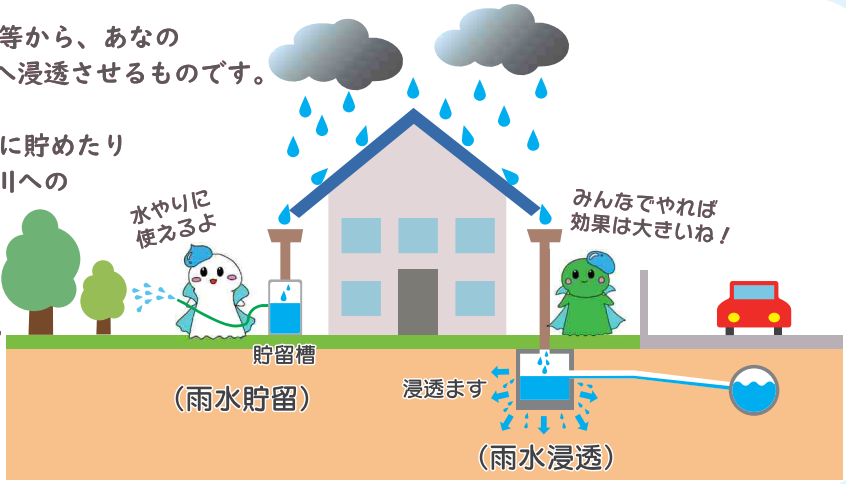
・透水性舗装は、降った雨を地中に浸透させ、その雨を徐々に排水していくという特性を持つため、河川へ流れ出る雨水の量を減らすことができます。

○雨水浸透ますや雨水貯留施設の設置

・「雨水浸透ます」とは、屋根の雨どい等から、あなの開いたますや管に雨水を流し込み地下へ浸透させるものです。

・「雨水貯留施設」とは、雨水を一時的に貯めたり地下に浸透させたりして、下水道・河川への雨水流出量を抑制するものです。
例えば、貯留槽は屋根の雨どい等から雨水を貯留タンクに貯めて、貯めた雨水を植栽の水まき等に利用できます。

・自治体によっては、補助金や助成金を受けられるところもあります。



スマホで投票！
あなたはどの対策から取り組みますか？

くまもと流域治水プロジェクト推進連絡会

事務局相談窓口

菊池川流域に関すること

国土交通省　菊池川河川事務所　流域治水課
TEL：0968-44-4424
〒861-0501
熊本県山鹿市山鹿１７８

白川・緑川流域に関すること

国土交通省　熊本河川国道事務所　流域治水課
TEL：096-382-1132
〒861-8029
熊本県熊本市東区西原１丁目１２番１号

球磨川流域に関すること

国土交通省　八代河川国道事務所　流域治水課
TEL：0965-32-4135
〒866-0831
熊本県八代市萩原町１丁目７０８－２

熊本県管理河川に関すること

熊本県土木部河川港湾局　河川課
TEL：096-333-2507
〒862-8570
熊本県熊本市中央区水前寺６丁目１８番１号

資料2－2－1

白川・緑川水系流域治水プロジェクト
－令和４年度取組進捗状況－

熊本県

白川水系・緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】　　R5.3.14更新

	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、横断工作物の対策、堤防整備、橋梁架替、遊水地整備	河道掘削等、遊水地の整備	白川	・白川水系白川において、既定計画に基づき、河道掘削や堤防整備を実施。 ・黒川においては、遊水地群の整備を行う。	R4時点		目標	・白川（菊陽・大津地域）において河道整備に係る測量設計及び地質調査を実施。 ・跡ケ瀬遊水地において関係機関との調整を図りながら、用地買収等を継続実施中（取得率７３％）。 ・用地取得及び埋蔵文化財等の調整が完了した箇所から工事に着手（排水樋管工事中）。
	河道掘削、堤防整備、橋梁架替、堰改築　等	河川バイパス区間の整備	緑川	・緑川水系潤川において、既定計画に基づき、140m^3/sの流量が安全に流下できる河道とすることを目標に、河川バイパス区間の河道整備を実施。	R4時点		目標	・河川バイパス区間における河道掘削や護岸整備を実施
	河道掘削、堤防整備、橋梁架替、堰改築　等	橋梁架替	緑川	・緑川水系天明新川において、既定計画に基づき、120m3/sの流量が安全に流下できる河道とすることを目標に、治水安全度が低い橋梁箇所の架け替え等を行う。	R4時点		目標	・橋梁架け替え箇所の取り付け護岸等の実施。
	土砂洪水氾濫対策	砂防堰堤整備	緑川	・豪雨による山腹崩壊や土石流等に起因する災害から住民の命とくらしを守るため、人家等に対する直接的な土砂災害防止及び下流河川の河床上昇に伴う洪水被害の防止を図ることを目的として砂防事業を実施中。	R4時点		目標	・砂防堰堤を９箇所で整備中（令和４年度に３箇所完成）。 ・令和５年度以降も、継続して砂防堰堤の整備及び新規整備箇所の調査を実施。
	森林の整備・保全 治山施設の整備	間伐等による森林の整備・保全	白川・緑川	・森林の有する山地災害防止機能や水源涵養機能等の公益的機能の適切な発揮に向け、山地災害危険地区や白川・緑川上流域等の森林を主体として、引き続き、間伐等の森林整備を推進。 ・また、森林整備を効率的・効果的に進めるため、森林経営管理制度の活用や施業技術の実証・普及等を併せて実施。	R4時点		目標	・白川・緑川上流域の森林を主体とした間伐や再造林、鳥獣被害対策の実施等を行った。 ・市町村での森林経営管理制度の活用の促進に向け、市町村職員を対象とした研修の開催や巡回指導による技術支援等を実施した。 ・造林作業等の省力化・低コスト化に向け、新技術の導入支援等を通じて、林業現場への導入を進めた。
	森林の整備・保全 治山施設の整備	治山施設の整備・保全	白川・緑川	・令和２年７月豪雨等により発生した林地崩壊や渓流荒廃を踏まえ、下流への土砂・倒木の流出を抑止するため、緊急的な治山施設等の整備を実施 ・山地災害が発生した箇所又はおそれのある箇所（山地災害危険地区）等を対象として、土砂の流出抑止や被害箇所の森林への復旧のため、流木捕捉式治山ダムを設置するなど流木対策を推移。	R4時点		目標	・山地災害が発生した箇所について、谷止工や山腹工等の復旧工事を実施。

	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
								令4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	河川カメラの設置	白川・緑川	・簡易型河川カメラの設置	R4時点		目標	・なし
	避難体制等の強化	洪水・土砂災害、ため池ハザードマップの作成、防災マップづくり等	白川・緑川	・水害リスク空白域の解消 ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組 ・白川・緑川水系：水位周知河川以外の河川の浸水想定区域図の作成	R4時点		目標	・Ｒ４年3月までに作成した洪水浸水想定区域図をより分かりやすく閲覧できるよう、県ホームページ「防災情報くまもと」の改修を実施した。
	避難体制等の強化	防災情報伝達の迅速化、多重化	白川・緑川	・水防警報発令システムの改良（半自動化）	R3時点完了			・R3年10月にシステムの改良完了
	避難体制等の強化	防災教育、防災士の育成、自主防災組織の活動の推進等	白川・緑川	・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保	R4時点		目標	・市町村と協力し、県から施設管理者向けに避難確保計画作成講習会を開催した。 ・避難確保計画の作成支援を行った。

熊本市

白川水系・緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】　R5.2.17更新

	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流域の雨水貯留機能向上	一定規模以上の開発行為に対する雨水貯留施設設置指導	白川・緑川	・一定規模以上（5000㎡）の開発行為に対する雨水貯留施設(調整池)の設置を推進 ・一定規模以上（1000㎡）の開発行為に対する雨水浸透ます設置を推進 ・透水性舗装を推進	R4時点		目標	・開発行為申請に対し雨水流出抑制指導を行っている。
	流域の雨水貯留機能の向上	雨水貯留施設の設置補助	白川・緑川	・地下水の涵養対策、節水対策及び雨水の流出抑制による水害軽減を図るため、雨水浸透ますの設置を推進する。	R4時点		目標	・令和3年度までにおいて、雨水浸透桝7274基※の設置補助を行っている。 ・令和4年度においては、令和5年1月末時点において、雨水浸透桝8基※の設置補助を実施した。 ※）熊本市域全域
	支川等氾濫対策	中小河川の河道拡幅・橋梁架替・河床掘削等	緑川	・洪水による被害の防止・軽減を図るため、河道拡幅、橋梁架替、貯留施設の整備、河川の浚渫等を実施。	R4時点		目標	・改修を実施している主な河川の整備率は以下のとおり。 健軍川（約82%）、藻器堀川（約72%）、鶯川（約54%）、旧天明新川（約14%）。 ※令和4年4月時点
	支川等氾濫対策	排水ポンプ用釜場整備、排水機場整備	緑川	・大雨時における浸水被害軽減を目的に野田排水機場のポンプ能力を現状の約1.5倍（1.2㎥/ｓ⇒1.7㎥/ｓ）に増強を図る。 ・老朽化した第一海路口排水機場の施設更新を行うとともに排水能力の増強を図る。（ 3.0㎥/ｓ⇒8.0㎥/ｓ）	R4時点		目標	・雨水排水用排水機場の改築更新等については、野田排水機場のポンプ増強において令和3年度までに流出解析モデルを用いたシミュレーション、基本設計、詳細設計を実施し、令和4年度より工事着手した。 ・農業用排水機場の改築更新等については、第一海路口排水機場の更新を実施している。（H27～R6）
	支川等氾濫対策	下水道等の排水施設の整備	緑川	・大雨時における浸水被害軽減を目的に下水道浸水対策、一般排水路整備、農業用排水路整備を実施する。 ・市街化区域における内水対策として、熊本市下水道浸水対策計画に基づき浸水対策重点６地区の整備を実施。	R4時点		目標	・内水氾濫対策として浸水解消策事業の下水道浸水対策、一般排水路整備整備、農業用排水路整備を実施する。 ・下水道浸水対策は、鶯川第２排水対区の詳細設計及び水理模型実験を実施、一般排水路整備は、杉島地区の排水路整備を実施、農業用排水路整備は、内田沖田地区の排水路整備を実施、今後、海路口（第１期）地区の排水路整備を実施する。

	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	立地適正化計画の策定（防災指針の追加を含む）	白川・緑川	・立地適正化計画に防災指針を追加し、災害リスクに備えた多核連携都市を目指す。 ・居住誘導区域を中心に防災部局等の保有するハザード情報と都市部局が保有する都市の情報を組み合わせ災害リスクを分析。 ・各地区の防災上の課題を踏まえ、関係部局と連携し災害リスクの回避や低減を図るための取組を総合的に組み合わせ展開。	R4時点		目標	・令和3年3月の立地適正化計画改定により追加した“防災指針”を活用し、防災部局や市民部局などと連携した災害リスクの周知や各種取組の推進を図る。
	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	土砂災害特別警戒区域からの移転促進	白川・緑川	熊本県では土砂災害特別警戒区域（以下、レッドゾーン）内に居住する方々の安全な区域への住宅移転を促進する「土砂災害危険住宅移転促進事業」を平成２７年に創設しており、本市においても「熊本市土砂災害危険住宅移転促進事業」を創設し、住宅移転を促進している。	R4時点		目標	・本年度は５件申請があり、レッドゾーンから熊本市内に移転している。（申請件数は市全体の数）
	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	がけ地近接等危険住宅移転事業	白川・緑川	・がけ崩れ、土石流、地すべり等の危険から住民の生命の安全を確保するため、災害危険区域等内に居住する人に対して、補助金を交付し、危険住宅からの移転を促進する。	R4時点		目標	・令和4年度は補助金交付決定1件
	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	中心市街地における老朽建築物の建替促進による防災機能の強化	白川	・まちなか再生プロジェクトは、容積率割増等の３つの取組により、老朽建築物の建替え等を促すとともに、併せて、空地を生み出すことで災害時の避難・活動空間を確保するなど、災害に強い上質な都市空間を創出。 ・財政支援の取組では、水害時でも建物の機能が確保されるよう電気設備等の浸水対策※を図ることを条件としている。 ※浸水想定深以上に、電気設備を配置すること等。	R4時点 19件		目標100件	・“まちなか”における建替え件数※1の目標として、10年※2間で100件※3を掲げている ※1：店舗(ホテル含む)・事務所を含む建築実績 ※2：令和2年4月1日～令和12年3月31日 ※3：熊本地震前の、まちなかの一定規模以上の建物の新築件数が年5件。 これを、倍増させる。（5件×2×10年） ・令和3年度までの実績は、まちなか再生プロジェクトを活用したものが8件、その他が11件。合計19件。 ・今後も、まちなか再生プロジェクトの財政支援等により、老朽建築物等の建替えを促進する。

	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	洪水・土砂災害、ため池ハザードマップの作成、防災マップづくり等	白川・緑川	・熊本市ハザードマップの運用（PC版、スマートフォン版）、紙版については令和３年３月に全戸配布済	R4時点		目標	熊本市ハザードマップに中小河川（３４河川）の浸水想定区域を反映
	避難体制等の強化	防災情報伝達の迅速化、多重化	白川・緑川	・熊本市防災情報ポータルを活用し、避難所での新型コロナウィルス感染症への対応を強化 ・出水期前の積極的な周知啓発	R4時点		目標	・熊本市防災情報ポータルで避難所の混雑状況や避難ルートが確認できるよう改修 ・出水期前に本市広報誌及びマスメディアを活用して上記システムの周知啓発を行った
	避難体制等の強化	防災教育、防災士の育成、自主防災組織の活動の推進等	白川・緑川	・地域の避難体制強化（校区防災連絡会等結成促進、防災教育、地域の防災組織等との連携）	R4時点		目標	・小学生を対象とした防災啓発動画作成・提供 ・自主防災組織の活動の支援 ・防災士フォローアップ研修の実施

阿蘇市

白川水系・緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】　R5.2.8更新

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
	避難体制等の強化	防災教育、自主防災組織の活動の推進　等	白川	・地区防災力向上のため、地区防災リーダーの養成等により自主防災組織活動の活性化を推進する。	R4時点		目標	自主防災組織のリーダー的役割の位置づけが期待できる方（区長、ボランティア推進員）への研修

大津町

白川水系・緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】　R5.3.15更新

	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流域の雨水貯留機能向上	一定規模以上の開発行為に対する雨水貯留施設設置指導 雨水貯留施設の設置補助	白川・緑川	・開発地域における調整池及び浸透桝設置	R4時点		目標	雨水浸透桝設置補助事業、開発事業等指導要綱に基づく浸透桝設置の指導を実施している。

	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	洪水・土砂災害、ため池ハザードマップの作成、防災マップづくり等	白川・緑川	・洪水・土砂災害ハザードマップづくり	R4時点完了			令和2年度にハザードマップを作成し、災害時において、町民の方々に利用してもらっている。
	避難体制等の強化	防災情報伝達の迅速化、多重化	白川・緑川	・防災無線とホームページ及び登録制メールとの連携 ・水位予測システムによる情報把握	R4時点完了			防災無線とホームページ及び登録制メールとの連携を開始 水位予測システムによる情報を収集し避難判断や災害予測に活用した

菊陽町

白川水系・緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】　R5.2.14更新

	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流域の雨水貯留機能向上	調整池・校庭貯留施設等の改修・整備	白川・緑川	・菊陽中部小学校運動場地下に雨水貯留施設（V=1,986m3）を整備し、放流量の調整を図っている。	R4時点完了			本取り組みについて、現在新規による計画はありません。
	流域の雨水貯留機能向上	調整池・校庭貯留施設等の改修・整備	白川・緑川	・雨水排水を調整池にて浸透させ、流出抑制により、白川下流域への水害軽減を図る。 ５箇所の調整池で77,500m^3の貯留量がある。	R4時点完了			本取り組みについて、現在新規による計画はありません。
	流域の雨水貯留機能向上	雨水貯留施設の設置補助	白川・緑川	・個人宅における雨水浸透ますの助成	R4時点		目標	１件　３基　48,000円 令和5年度も予算計上（16,000円×１５基分　240,000円）

	対策内容	実施内容	実施内容	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	河川カメラの設置	白川・緑川	・河川監視カメラの設置	R4時点		目標	本取り組みについて、現在新規による計画はありません。
	避難体制等の強化	総合防災マップの更新・周知	白川・緑川	・総合防災マップの更新、全戸配布 ・Web版の公開	R4時点		目標	R4.4に全戸配布済。 併せて、R4.4からWEB版を公開中。随時更新
	避難体制等の強化	情報伝達の迅速化・多重化	白川・緑川	・防災無線の活用 ・登録制メールの「きくよう安心メール」、Yahoo!防災速報アプリ、町公式LINEによる防災情報の配信	R4時点完了			本取り組みについて、現在新規による計画はありません。
	避難体制等の強化	災害時の地域公民館活用（耐震診断改修工事）	白川・緑川	・熊本地震以前に建築された地区公民館47件の耐震診断を実施 ・耐震不足と判定された地区公民館に対する補強工事の補助	R4時点		目標	R4年度は、耐耐震不足と判定された6件の補強工事設計に対する補助を実施した。

高森町

白川水系・緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】　R5.3.14更新

	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川浚渫工事	・冬野川河川浚渫工事 ・芝原川河川浚渫工事	白川	・冬野川河川浚渫工事（Ｌ＝580.0m　Ｖ＝1,396㎥） ・芝原川河川浚渫工事（Ｌ＝195.0m　Ｖ＝152㎥）	R4時点			河川の浚渫工事（令和4年度完了）

	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	洪水・土砂災害、ため池ハザードマップの作成、防災マップづくり等	白川	・総合防災マップの作成 ・ため池ハザードマップの作成	R4時点			地域防災計画、ホームページ等で、住民に災害リスクの周知を行っている。
	避難体制等の強化	情報伝達の迅速化・多重化	白川	・ＳＮＳ等により各公民館、集会場の避難所情報を収集、防災情報の配信を行う。	R4時点			町防災訓練の際、避難者情報をｓｎｓ等を活用して災害対策本部と情報共有、連携を図った。
	避難体制等の強化	防災教育、防災士の育成、自主防災組織の活動の推進等	白川	・地域防災力強化のため自主防災組織の活動支援を行う。防災士の育成をおこなう。	R4時点		目標	・自主防災組織の訓練及び研修に参加し講話や実技指導を行う。防災士の資格取得などの助成を行う。

西原村

白川水系・緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】　R5.3.14更新

	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流域の雨水貯留機能向上	調整池・校庭貯留施設等の改修・整備	白川・緑川	・調整池の整備（３カ所）	R3時点完了			すでに整備は完了している。
	流域の雨水貯留機能向上	農業水利施設の整備	緑川	・農業用排水路等の整備・更新 ・河川の河床掘削			目標	本整備事業の計画を立てられていない。
	支川等氾濫対策	中小河川の河道拡幅・橋梁架替・河床掘削等	緑川	・河川の河床掘削		R4時点 目標		中河川（布田川）・小河川（玉田川）の河床掘削 中河川（布田川）においては完了済。
	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	河川カメラの設置	白川・緑川	・水位監視カメラの設置（３カ所）	R3時点完了			すでに設置は完了している。
	避難体制等の強化	洪水・土砂災害、ため池ハザードマップの作成、防災マップづくり等	白川・緑川	・浸水想定区域を想定したハザードマップの作成（全戸配布） ・ため池ハザードマップの作成	R3時点完了			すでに作成は完了している。
	避難体制等の強化	防災教育、防災士の育成、自主防災組織の活動の推進等	白川・緑川	・自主防災組織の活動の推進	R4時点		目標	地域に活動の周知を行っているが、これからも推進活動を行っていきたい。

南阿蘇村

白川水系・緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

R4年度末更新

	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流域の雨水貯留機能向上	水田の貯留機能向上	白川	・熊本大学大学院先端科学研究部の皆川朋子准教授と連携して村内６か所のほ場で田んぼダムの実証試験を実施した	R4時点		目標	村内の水田に門型３か所、穴あき型３か所の田んぼダムを設置し、降雨時の水田の水位を水位計「水田farmo」で測定した。

	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	洪水・土砂災害、ため池ハザードマップの作成、防災マップづくり等	白川	・ハザードマップの更新	R4時点		目標	令和3年度に作成した最新のハザードマップの全戸配布
	避難体制等の強化	防災教育、防災士の育成、自主防災組織の活動の推進等	白川	・自主防災組織の活動推進 ・防災士の育成（消防団幹部経験者等）	R4時点		目標	各自主防災組織による自主避難所の開設 地区防災計画の策定 消防団１８分団ごとに防災研修を実施
	避難体制等の強化	災害時における流域連携による復興支援等の検討	白川	・防災訓練	R4時点		目標	

宇土市

白川水系・緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】　R5.3.15更新

	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	支川等氾濫対策	排水ポンプ用釜場整備、排水機場整備	緑川	・排水機場の設備改修 ・排水機場による内水排水	R4時点		目標	
	支川等氾濫対策	中小河川の河道拡幅・橋梁架替・河床掘削等	緑川	・河川浚渫	R4時点		目標	浚渫した河川…飯塚川，塩田川，大谷川，船場川支流，妙見川，田平川，赤瀬川 （一部浚渫中）

	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	河川カメラの設置	緑川	・簡易型河川監視カメラを設置し，沿線居住者に対し河川状況をインターネットで公開することにより，自主的避難の判断材料とする。	R4時点		目標	自主的避難の判断材料となるよう市所有の河川監視カメラの設置箇所に水位表示板を設置した。
	避難体制等の強化	洪水・土砂災害、ため池ハザードマップの作成、防災マップづくり等	緑川	・地域住民の自主防災意識の向上を図り，ため池の防災対策や災害時の被害軽減を目的とし，ため池ハザードマップを作成。	R4時点		目標	各ため池にハザードマップを掲載した標識を設置。
	避難体制等の強化	洪水・土砂災害、ため池ハザードマップの作成、防災マップづくり等	緑川	・浸水想定区域を想定したハザードマップの作成	R4時点		目標	各種情報を更新したハザードマップを作成し令和4年4月に全世帯へ配布。新たな情報（更新）があれば将来的に見直しを図る。
	避難体制等の強化	防災教育、防災士の育成、自主防災組織の活動の推進等	緑川	・水防災教育の充実	R4時点		目標	新型コロナウイルス感染症の影響でできなかった。
	避難体制等の強化	災害時における流域連携による復興支援等の検討	緑川	・広域避難の検討	R4時点		目標	広域の枠組み含め検討中。

嘉島町

白川水系・緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】　R5.3.14更新

	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流域の雨水貯留機能向上	雨水貯留施設の設置補助、一定規模以上の開発行為に対する設置指導	緑川	・地下水の涵養対策、節水対策及び雨水の流出抑制による水害の軽減を図るため、雨水浸透ますの設置を推進。 ・地下水の保全及び水資源の有効利用の促進を目的に、住居等への雨水貯留タンクの設置を推進。	R4時点		目標	実績 浸透ます設置：3件 貯留タンク：0件

	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	洪水・土砂災害ハザードマップの周知	緑川	・ホームページへの掲載、転入者への配布	R4時点		目標	転入者には、転入手続きの際にハザードマップを配布。
	避難体制等の強化	防災情報伝達の迅速化、多重化	緑川	・防災行政無線の個別受信機導入検討	R4時点	目標		R4.10　設計済 R4.12　工事発注済 R6.3　完了予定
	避難体制等の強化	災害時における流域連携による復興支援等の検討	緑川	・緑川水防演習	R4時点		目標	R4.5　実施済み。（土のう積み工法）

御船町

白川水系・緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】　　R5.3.14更新

	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流域の雨水貯留機能向上	雨水貯留施設の設置補助、一定規模以上の開発行為に対する設置指導	緑川	・一定規模以上の面積を開発する場合における雨水貯留・浸透ます設置の推進 ・住宅等における雨水貯留タンクの設置推進 ・雨水浸透ますの設置推進	R4時点		目標	開発事業者に対し、開発区域内の雨水流出抑制対策を実施してもらうよう指導を行い、雨水浸透桝設置や透水性舗装での施工など対策が行われた。
	流域の雨水貯留機能向上	ため池の補強・有効活用	緑川	・ため池改修	R4時点	目標		ボーリング調査の結果をもとに、地元説明会を実施。その後、県へ事業申請を行った。
	支川等氾濫対策	下水道等の排水施設の整備	緑川	・大雨時の浸水被害対策として仮設ポンプを設置し、周辺住宅等の内水浸水被害を軽減する。 ・今後、雨水管理総合計画に基づき、内水被害軽減対策を実施予定。	R4時点		目標	引き続き、御船川沿いの２地区（２箇所）に仮設ポンプを設置し、内水排除を実施する。 雨水管理総合計画に基づき、今後の対策の検討を行う。
	支川等氾濫対策	中小河川の河道拡幅・橋梁架替・河床掘削等	緑川	・河川浚渫	R4時点	目標		準用河川：溝後川・矢谷川の２河川を浚渫。

	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	洪水・土砂災害、ため池ハザードマップの作成、防災マップづくり等	緑川	・総合防災マップの作成 ・ため池ハザードマップの作成	R4時点 R4時点	目標 目標		・総合防災マップは、令和５年度作成に向けて、作成浸水想定区域の確認等を行った。 ・ため池ハザードマップは、令和３年度末にて完成。令和４年４月～各地域に配布済。
	避難体制等の強化	防災教育、防災士の育成、自主防災組織の活動の推進等	緑川	・防災士の育成 ・地区防災計画作成の講習会 ・防災訓練	R4時点 R4時点 R4時点	目標	目標 目標	・養成講座を実施した（令和４年11月実施）。（５０人参加） ・区長や防災士を対象に各地域の地区防災計画の作成に伴う講習会を行った（令和４年11～12月実施）。 ・町職員を中心とした防災訓練を実施し、初動対応の確認を行った。（令和５年２月実施）。

甲佐町

白川水系・緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】　R5.3.13更新

	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流域の雨水貯留機能向上	調整池・校庭貯留施設の整備、既存調整池容量拡充	緑川	・甲佐小学校駐車場に浸透型雨水貯留施設（V=1,050m3）を整備	R4時点完了			整備完了
	流域の雨水貯留機能向上	雨水貯留施設の設置補助、一定規模以上の開発行為に対する設置指導	緑川	・浸透桝・雨水貯留設備補助 ・一定規模以上の開発行為に対する雨水地下浸透の指導	R4時点		目標	随時実施する。
	支川等氾濫対策	排水ポンプ用釜場整備、排水機場整備	緑川	・甲佐町の下横田地区では過去の洪水において道路や家屋の浸水被害が発生しており、令和２年７月豪雨では、内田川の水位上昇により浸水被害が発生している。浸水被害軽減対策として、自然流下できない内水を緑川へ導水し、緑川へポンプ排水できるようにするため、既設調整池の２つを接続し、釜場の新設、排水ポンプの配備を実施した。	R4時点完了			整備完了
	支川等氾濫対策	排水ポンプ用釜場整備、排水機場整備	緑川	・近年、頻発する集中豪雨により、大井出川沿川において浸水被害が発生しており、H19.7月洪水、H28.6月洪水においては大町樋門付近で内水被害が発生している。内水対策として、大町樋管に排水機場を整備し、併せて大井手川水位を低下できるよう既存排水路を利用した対策を行う。	R4時点		目標	基本設計着手
	支川等氾濫対策	中小河川の河道拡幅・橋梁架替・河床掘削等	緑川	・甲佐町の船津地区・有安地区では過去の洪水において道路や家屋の浸水被害が発生しており、平成１９年７月豪雨では、馬門川の水位上昇により浸水被害が発生している。浸水被害軽減対策として、河道拡幅や洪水調節施設の設置等、地域特性を最大限に活かした対策を検討し工事を実施することで浸水被害の軽減を図る。	R4時点		目標	基本設計着手

	対策内容	実施内容	実施内容	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	災害危険区域の指定	緑川	・寒野地区、上揚地区の土地利用一体型水防災事業（国土交通省施工）にあわせて、災害危険区域を指定 甲佐町災害危険区域に関する条例（平成18年6月23日 甲佐町条例第15号）	R4時点完了			区域指定済

	対策内容	実施内容	実施内容	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	河川カメラの設置	緑川	・水位監視カメラの設置	R4時点完了			整備完了
	避難体制等の強化	洪水・土砂災害、ため池ハザードマップの作成、防災マップづくり等	緑川	・災害時の備えとして準備しておくためのガイドブックとして総合防災マップを作成。マップに広域避難図を掲載	R4時点完了			作成済・配布済
	避難体制等の強化	洪水・土砂災害、ため池ハザードマップの作成、防災マップづくり等	緑川	・ため池ハザードマップの作成	R4時点完了			作成完了
	避難体制等の強化	防災情報伝達の迅速化、多重化	緑川	・町ホームページ、スマートフォンアプリなどによる防災情報発信	R4実施		継続実施	町ホームページによる防災情報発信を実施
	避難体制等の強化	防災教育、防災士の育成、自主防災組織の活動の推進等	緑川	・水防教育の実施 ・防災無線の設置 ・防災士の養成 ・自主防災組織活動の推進 ・早期避難啓発チラシの配布	R4実施		継続実施	水防教育の実施：町内小学校において出前講座を実施 防災無線の設置：点検や補修を実施 防災士の養成、自主防災組織活動の推進：講習会の資格取得などの助成を実施 早期避難啓発チラシの配布：マイタイムライン作成の手引きや様式の全戸配布を実施

白川水系・緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】　R5.2.22更新

	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流域の雨水貯留機能向上	雨水貯留施設の設置補助、一定規模以上の開発行為に対する設置指導	緑川	・地下水の涵養対策、節水対策及び雨水の流出抑制による水害軽減を図るため、雨水浸透ますの設置を推進。	R4時点		目標	４件（１３基）の申請があり、補助を行なった。
	流域の雨水貯留機能向上	雨水貯留施設の設置補助、一定規模以上の開発行為に対する設置指導	緑川	・一定規模以上の開発行為に対する雨水貯留・浸透施設の設置の指導	R4時点		目標	該当する開発行為４件に対して、指導を行なった。
	支川等氾濫対策	排水ポンプ用釜場整備、排水機場整備	緑川	・熊本地震で地盤が沈下し、出水期に内水被害が発生している３地区において、浸水被害を解消するため、益城町雨水管理総合計画に基づき、雨水ポンプ場を建設中 ・熊本地震で地盤が沈下し、出水期に内水被害が発生している３地区に、仮設の排水ポンプを設置することで、内水被害を軽減	R4時点		目標	３地区のうち２地区については、ポンプ場建設工事に着手し、令和５年の稼働に向けて施工中。残り１地区については、令和５年度に契約する予定である。

	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	立地適正化計画の策定（防災指針の追加を含む）	緑川	・立地適正化計画の策定（防災指針の追加を含む）により、災害リスクを考慮した安全なまちづくりを進める。 ・災害リスク情報（浸水想定区域等）を活用した居住誘導区域の検討。 ・居住誘導区域内では、「防災指針」に基づく、防災・減災対策を検討。	R4時点		目標	令和4年3月に立地適正化計画を策定した。 ※益城町では「防災指針」を作成し、適切に災害リスク分析を行い、災害リスクが高い地域を原則居住誘導区域から除外するとともに、誘導区域に残存する災害リスクに対して防災・減災対策を進めている。

	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	洪水・土砂災害、ため池ハザードマップの作成、防災マップづくり等	緑川	・水防法第１４条に基づく洪水浸水想定区域の変更に伴い、ハザードマップを改訂し、全戸配布を行う。 ・災害時におけるマイタイムラインの掲載、気象情報の知識や避難路、避難場所の確認を行うことで、いざという時の迅速な対応に役立ててもらう。	R4時点		目標	令和3年6月に改訂を行い、全戸配布を行なった。また、町のホームページにも掲載し、周知を行なった。
	避難体制等の強化	洪水・土砂災害、ため池ハザードマップの作成、防災マップづくり等	緑川	・ため池堤体の決壊が発生した場合を想定し、氾濫水の浸水想定区域・浸水深、避難場所や避難時の注意点などを掲載した、ため池ハザードマップを作成する。 ・ため池災害時に備え、迅速な避難行動ができるように活用してもらう。	R4時点		目標	１５箇所のため池を６つのマップに分けて作成（令和３年３月）し、該当する地区に対して全戸配布を行なった。 また、4月に町ホームページに掲載し、併せて重点ため池については、現地に立看板を設置し、災害対策強化を行なった。
	避難体制等の強化	防災情報伝達の迅速化、多重化	緑川	・防災無線、エリアメール、町ホームページ、住民登録制メール、SNS（LINE・twitter）による避難情報の発令	R4時点		目標	避難情報の発令回数：１回（避難指示）
	避難体制等の強化	防災教育、防災士の育成、自主防災組織の活動の推進　等	緑川	・防災士の養成、自主防災組織の活動の推進を図り、地域の防災力向上につなげる。	R4時点		目標	防災士資格取得者数：９人 自主防災組織数：１２団体（うち令和４年度新規設立：１団体）

美里町

白川水系・緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】　R5.2.22更新

	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	災害危険区域の指定	緑川	・出水による災害を未然に防止するため建築物の建築制限を行うため災害危険区域を指定する。 美里町災害危険区域に関する条例（平成16年11月1日条例第138号）	R4時点			条例を制定済で指定区域に変更はないため、取組進捗なし。

	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	ため池ハザードマップの作成	緑川	・ため池ハザードマップとは、規模の大きな地震によりため池の堤体が決壊した場合の備えとして、安全で迅速な避難行動に役立てていただくことを目的に作成するものです。 ・本町には51箇所のため池があり、内25箇所を防災重点ため池として指定し、令和２年度に指定した全箇所についてハザードマップを作成した。また、令和４年度には同箇所の防災重点ため池について看板設置を予定している。	R4時点	目標		令和4年度看板設置完了予定。
	避難体制等の強化	防災マップづくり	緑川	・美里町総合防災マップは町民が災害による被害に遭う前に的確な避難行動をとるための一助として全戸に配布している。 ・R4年度に想定最大規模によりハザードマップを更新予定であり、再度全戸配布を行う。また、誰でもどこでも確認ができるようタブレットやスマートフォンでの閲覧に対応したWEB版ハザードマップも同時に構築予定。	R4時点		目標	令和4年度に完成。令和5年度に運用開始。
	避難体制等の強化	WEB版ハザードマップ構築	緑川	・災害リスクや防災知識を誰でもどこでも確認ができるようタブレットやスマートフォンでの閲覧に対応したWEB版ハザードマップも同時に構築予定。	R4時点		目標	令和4年度に完成。令和5年度に運用開始。
	避難体制等の強化	自主防災組織の活動の推進	緑川	・自主防災組織は現在５９組織が活動を行っており避難訓練や情報伝達訓練、資機材の点検などを行っている。町でも育成のために組織の代表者を集めた研修会を行っている。 ・R4年度は熊本県の取り組みである『マイタイムライン』の推進のため町内の自主防災組織を回り研修会を行う計画である。	R4時点		目標	令和4年度は自主防災組織による防災訓練を実施。
	避難体制等の強化	防災教育	緑川	・町内小学校の5年生時に水防災教育の実施（R3は中止） ・R2年度より町内小学校の依頼により4年生への防災教育も実施している。	R4時点		目標	令和4年度は実施なし。
	避難体制等の強化	防災士の育成	緑川	・R2年度より防災士育成補助金を創設し防災士の育成に力を入れている。	R4時点		目標	令和4年度は防災士育成補助金を今年度新たに取得した4人に助成予定。

山都町

白川水系・緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】　R5.3.10更新

	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流域の雨水貯留機能向上	ため池の補強・有効活用	緑川	・防災重点ため池の調査 ・（必要に応じて）ため池の改修	R4時点		目標	防災重点ため池の調査を実施した。
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
	避難体制等の強化	洪水・土砂災害、ため池ハザードマップの作成、防災マップづくり等 防災情報伝達の迅速化、多重化	緑川	・水害・土砂災害等に関する危険区域の周知や、災害発生時に的確な行動をとるための情報提供を目的とした総合防災マップを町内全戸に配布。	R4時点		目標	土砂災害警戒区域のほか浸水想定区域や避難所情報等を掲載した総合防災マップを活用しながら、自主防災組織との連携を図っている。
	避難体制等の強化	洪水・土砂災害、ため池ハザードマップの作成、防災マップづくり等 防災情報伝達の迅速化、多重化	緑川	・ため池ハザードマップの作成	R3時点完了			
	避難体制等の強化	防災情報伝達の迅速化、多重化	緑川	・スマートフォンを活用することで、迅速な防災情報の提供及び災害等に関する情報の収集を目的とした防災アプリの導入。	R4時点		目標	消防団は防災アプリの写真投稿機能や消防無線を活用し、災害発生現場の詳細な情報をいち早く災害対策本部へ伝達した。
	避難体制等の強化	災害時における流域連携による復興支援等の検討	緑川	・総合防災訓練の実施	R4時点		目標	消防・警察・自衛隊・消防団・病院・住民と連携した町の総合防災訓練を実施した。

宇城市

白川水系・緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】　R5.3.14更新

	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流域の雨水貯留機能向上	ため池の補強・有効活用	緑川	・大雨予報時のため池貯水量調整	R4時点		目標	気象情報を確認のうえ、貯水量調整を管理者に連絡・指示
	支川等氾濫対策	中小河川の河道拡幅・橋梁架替・河床掘削等	緑川	・緑川水系上流部にあたる支流において、周辺地域の水害の減少及び下流部（本流）への土砂流出防止を目的に、河川に堆積した土砂の撤去を行う。	R4時点		目標	出水期前後の河川パトロールを実施し土砂流出及び堆積が多い箇所の堆積土を撤去する。
	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	洪水・土砂災害、ため池ハザードマップの作成、防災マップづくり等	緑川	・ハザードマップの作製（洪水氾濫シミュレーション）	R4時点完了			防災重点ため池におけるハザードマップの作製が完了し、流域の地区に配布
	避難体制等の強化	防災教育、防災士の育成、自主防災組織の活動の推進等	緑川	・河川の定期的なパトロール 河川のパトロールを実施し、変異箇所等の存在を早期に発見し処置する。	R4時点		目標	河川パトロール（出水期前後）を実施

国土交通省　立野ダム工事事務所

白川水系・緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】　R5.2.16更新

	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	立野ダム建設	ダム建設	白川	・白川沿川の洪水被害を防ぐことを目的に、昭和28年6月洪水と同程度の洪水を安全に流すことを目指して、基準地点である代継橋地点における基本高水のピーク流量3,400m^3/sを、立野ダムにより400m^3/sの洪水調節を行い、計画高水流量3,000m^3/sに低減し、洪水被害の防止又は軽減を図る。	R4時点 目標			令和５年１月末時点でのコンクリート打設量は累計約34.4万m3で、進捗率は約95%となっています。 令和５年４月にはダム本体のコンクリート打設が完了予定です。 令和５年度よりダム運用開始となるため、出水期前にダム放流連絡協議会を開催し、関係機関へ情報提供を行います。

国土交通省　緑川ダム管理所

白川水系・緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】　R5.2.22更新

					令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			
	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	短期	中期	中長期	令和4年度に取り組んだ具体的な内容
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、堤防整備、橋梁架替、堰改築等	既存ダムの洪水調節機能の強化	緑川	・既存ダム（緑川ダム）の洪水調節機能の強化	R4時点		目標	・令和4年9月の台風14号接近時、予測雨量が超過したため、緑川ダムで2回目となる事前放流を実施し、約475万m3の容量を増強した。

白川水系・緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】　R5.3.23更新

					令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			
					短期	中期	中長期	令和4年度に取り組んだ具体的な内容
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容				
	森林の整備・保全	保安林整備等の検討	緑川	・林野（森林）部門と連携し、緑川ダム上流域における森林整備区間の「植樹、下刈、除伐、枝打ち等」の協働作業に取り組むことで、緑川の流域治水（山地の災害防止・水源かん養）に資する。	R4時点		目標	緑川流域会議に所属する「天明水の会」が中心となり、大津町の「みず.生まれる里の森」及び南阿蘇村の「若者の森」にて植林活動と下草刈りを実施。
					令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			
					短期	中期	中長期	令和4年度に取り組んだ具体的な内容
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容				
	避難体制等の強化	災害時における流域連携による復興支援等の検討	緑川	・「緑川流域会議」において、災害時に各自治体と各流域団体がお互いに必要な情報を共有し、円滑な災害復旧等に寄与することを目的として、「災害時における緑川流域連絡網（案）」を検討。	R4時点		目標	緑川流域会議にて災害時における緑川流域の連絡網作成について検討。来年度以降に作成予定。

熊本森林管理署

白川水系・緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】　R5.2.22更新

	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	森林の整備・保全 治山施設の整備	間伐等による森林の整備・保全	白川・緑川	・森林の有する公益的機能の発揮に向けた間伐等の森林整備	R4時点		目標	○白川・緑川上流域の森林を主体とした間伐や再造林、鳥獣被害対策の実施等を行った。 ○市町村での森林経営管理制度の活用の促進に向け、市町村職員を対象とした研修の開催や巡回指導による技術支援等を実施した。 ○造林作業等の省力化・低コスト化に向け、新技術の導入支援等を通じて、林業現場への導入を進めた。
	森林の整備・保全 治山施設の整備	治山施設の整備・保全	白川・緑川	・山地災害の早期復旧のため治山施設を整備	R4時点		目標	○山地災害が発生した箇所について、谷止工や山腹工等の復旧工事を実施。

森林整備センター　熊本水源林整備事務所

白川水系・緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】　R5.3.14更新

	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	森林の整備・保全 治山施設の整備	間伐等による森林の整備・保全	白川・緑川	・水源林の整備	R4時点		目標	○白川・緑川上流域の森林において除間伐等の森林整備を実施した。

国土交通省　阿蘇砂防事務所

白川水系・緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】　R5.3.14更新

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			
					取組工程の進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					短期	中期	中長期	
	土砂洪水氾濫対策	砂防堰堤整備	白川	・豪雨による山腹崩壊や土石流等に起因する災害から住民の命とくらしを守るため、人家等に対する直接的な土砂災害防止及び下流河川の河床上昇に伴う洪水被害の防止を図ることを目的として砂防事業を実施中。	R4時点		目標	・砂防堰堤を２６箇所事業推進中。うち２１箇所工事中。 （令和４年度５箇所完成ならびに完成予定） ・豪雨時には、整備済みの砂防堰堤が土砂・流木を捕捉し下流人家等への被害を防止した。

白川水系・緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】　　R5.3.15更新

	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					取組工程の進捗状況			
					短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、横断工作物の対策、堤防整備、橋梁架替、遊水地整備	河道掘削	白川	・白川水系河川整備計画に基づき、3,000m^3/sの流量が安全に流下できる河道とすることを目標に、治水安全度が低い箇所の河道掘削を行う。	R4時点		目標	白川水系河川整備計画では直轄管理区間において井樋山堰～泰平橋及び渡鹿堰上流の河道掘削が位置づけられており、令和４年度は第一白川橋梁下流及び蓮台寺橋下流を実施した。
	河道掘削、横断工作物の対策、堤防整備、橋梁架替、遊水地整備	横断工作物の対策	白川	・白川水系河川整備計画に基づき、3,000m^3/sの流量が安全に流下できる河道とすることを目標に、白川直轄管理区間にある固定堰（井樋山堰、十八口堰、三本松堰、渡鹿堰）及び薄場橋、JR白川橋梁の改築等を実施する。	R4時点		目標	白川水系河川整備計画では直轄管理区間において固定堰（井樋山堰、十八口堰、三本松堰、渡鹿堰）及び薄場橋、JR白川橋梁の改築等が位置づけられており、令和４年度は調査検討等を実施した。
	河道掘削、横断工作物の対策、堤防整備、橋梁架替、遊水地整備	堤防整備	白川	・白川水系河川整備計画に基づき、3,000m^3/sの流量が安全に流下できる河道とすることを目標に、堤防高・幅が不足している地区において堤防整備を実施する。	R4時点		目標	白川水系河川整備計画では直轄管理区間において小島橋下流、大甲橋～明午橋、子飼橋上流の堤防整備が位置づけられており、令和４年度は大甲橋～明午橋、小島橋下流の一部を実施した。
	高潮堤防整備	高潮堤防整備	緑川	・緑川水系河川整備計画に基づき、高潮区間（緑川平木橋下流、浜戸川太郎兵衛橋下流）においてまず平成11年9月の高潮規模に対応できるようT.P.4.50mの堤防を整備し、その後、既往最大規模のT.P.6.00mの堤防を整備する。	T.P.4.5m対応 R4時点 目標	T.P.6.0m対応 R4時点 目標		緑川水系河川整備計画では緑川本川平木橋下流及び浜戸川太郎兵衛橋下流の高潮堤防整備が位置づけられており、令和４年度は本川右岸2km付近のT.P.4.50m整備及び本川、浜戸川の左岸下流より順次T.P.6.00mの整備を実施。
	河道掘削、堤防整備、橋梁架替、堰改築　等	堤防整備	緑川	・緑川水系河川整備計画に基づき、既往最大である昭和18年9月洪水と同規模の洪水が再度発生した場合でも、浸水被害の防止又は軽減が図られることを目標に、堤防高・幅が不足している地区において堤防整備を実施する。		本川中流部 目標	本川上流部 目標	緑川水系河川整備計画では宇土市、熊本市、嘉島町、御船町、甲佐町内において堤防高・幅が不足している箇所の堤防整備が位置づけられており、令和４年度は本川右岸の熊本市南区美登里町において堤防整備を実施。
	河道掘削、堤防整備、橋梁架替、堰改築　等	河道掘削、樹木伐採	緑川	・緑川水系河川整備計画に基づき、既往最大である昭和18年9月洪水と同規模の洪水が再度発生した場合でも、浸水被害の防止又は軽減が図られることを目標に、河積が不足している地区において河道掘削及び樹木伐採を実施する。	支川加勢川 R4時点 目標	目標 本川中流部 目標	本川上流部 目標	緑川水系河川整備計画では熊本市、嘉島町、甲佐町内において河積が不足している河道掘削及び樹木伐採が位置づけられており、令和４年度は加勢川下流部の熊本市南区美登里町、中無田町において河道掘削を実施。

	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					取組工程の進捗状況			
					短期	中期	中長期	
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	防災ステーション・防災拠点の整備	緑川	・緑川下流部（浜戸川）にある既存の防災ステーションに加え、緑川中上流部において新たに防災ステーションや水防拠点を整備することで、災害時において水系全体で円滑かつ効果的な河川管理施設保全活動及び緊急復旧活動が可能となる。	R4時点		目標	緑川上流部における船津地区河川防災ステーションについては、引き続き基盤整備として盛土整備を実施中。既設の浜戸川防災ステーション（緑川）については必要に応じて備蓄資材の整備等を実施していく。

	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和4年度時点の取組進捗状況			令和4年度に取り組んだ具体的な内容
					取組工程の進捗状況			
					短期	中期	中長期	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	従来型水位計及び危機管理水位計の設置	白川・緑川	・白川、緑川水系の国管理区間において、アドホック水位計を危機管理型水位計に更新し、運用。 ・出水時に危険箇所実位置での水位観測（現状把握）を行うことにより、関係市町へ、より正確な防災情報を提供。	R4時点		目標	白川、緑川水系の国管理区間において、令和４年度時点で危機管理型水位計を２１箇所運用中。
	避難体制等の強化	広域避難を含むハザードマップ、水防災教育等に関する自治体支援	白川・緑川	・国管理区間のL2浸水想定区域図（白川、緑川）を公表し、各市町の浸水リスク情報を配布。 ・各市町の実務担当者で構成する広域避難作業部会の発足 ・学校関係者が集まる場にて、「防災教育教材の活用」に向けた普及活動を実施、また教材を教科書の副教材として活用した授業の実施。 ・熊本市教育委員会と熊本県立教育センターのサーバーに教材データをアップロードし、先生方が自由にデータを取得できる環境を整備。	R4時点		目標	浸水想定区域図に関する自治体からの疑義に対する問い合わせ対応等の支援及び教材の更新。

資料2－2－2

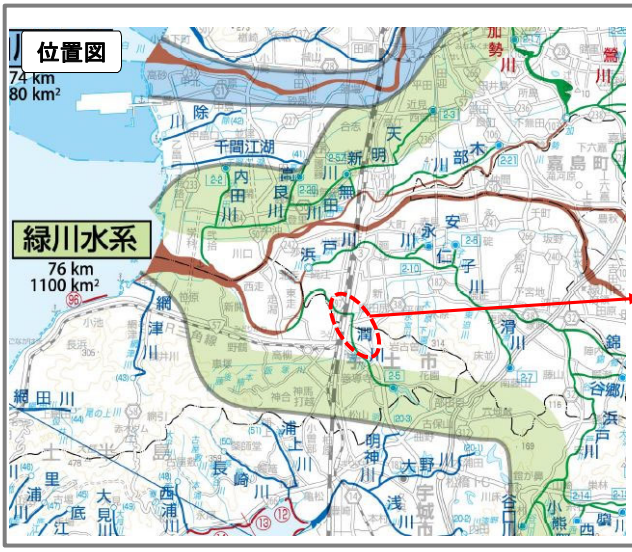
白川・緑川水系
流域治水プロジェクト

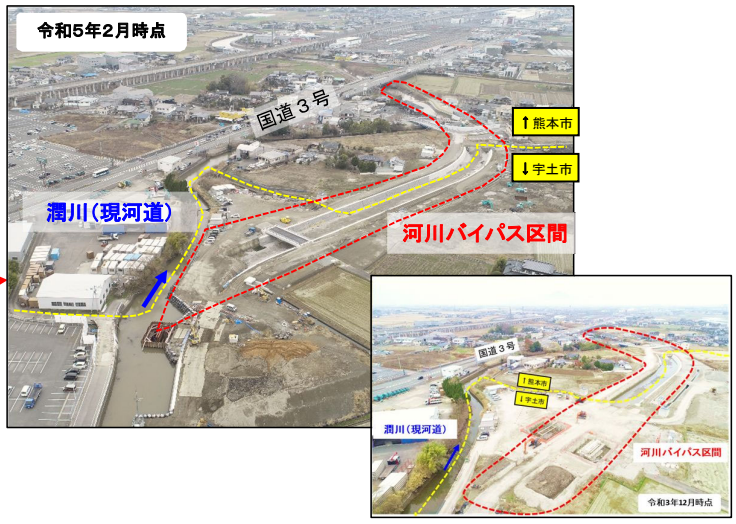
―令和4年度取組進捗状況―

緑川水系流域治水プロジェクト 【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川バイパス区間の整備	熊本県

〇緑川水系潤川河川整備計画に基づき、140m3/sの流量を安全に流下させることを目標に、河川バイパス区間の河道整備を実施。





■令和4年度時点の取組進捗状況

・河川バイパス区間における河道掘削や護岸整備を実施。

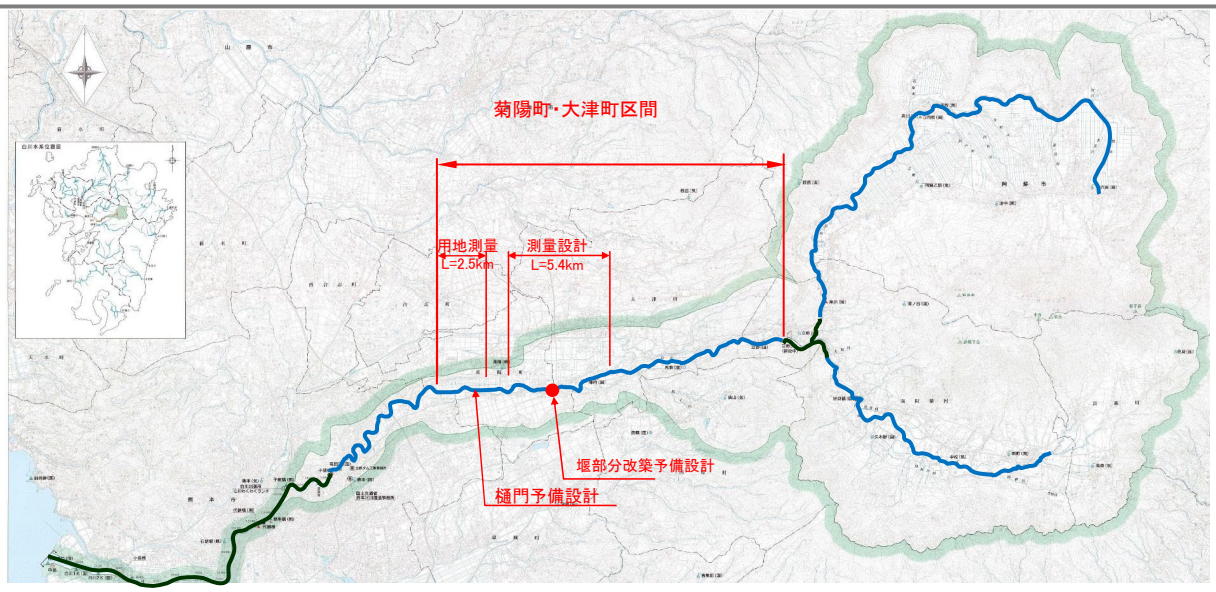
対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
河道掘削、堤防整備、橋梁架替、堰改築 等	河川バイパス区間の河道整備	R4時点		目標

白川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削や堤防整備の実施	熊本県

○白川水系河川整備計画に基づき、浸水被害解消のため堤防整備に向けた測量設計を実施中。

位置図



■令和4年度時点の取組進捗状況

・関係機関との調整を図りながら、設計及び用地測量等を実施。

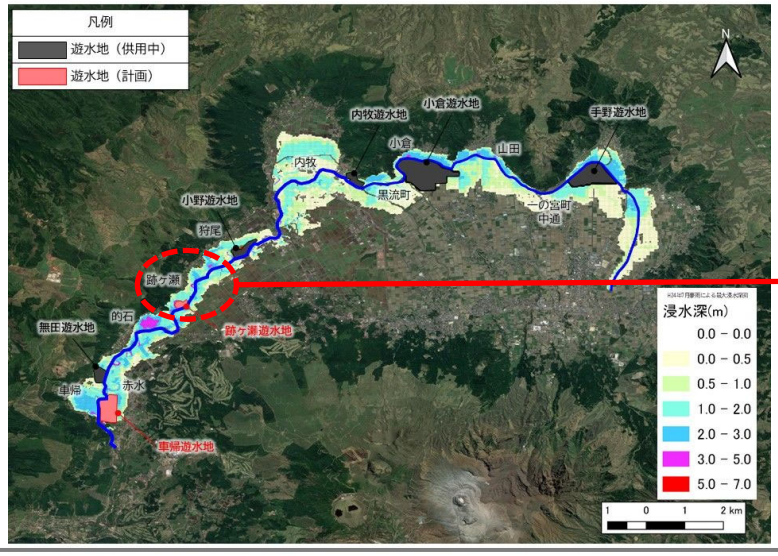
対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
河道掘削、横断工作物の対策、堤防整備、橋梁架替、遊水地整備	河道掘削等、遊水地の整備	R4時点		目標

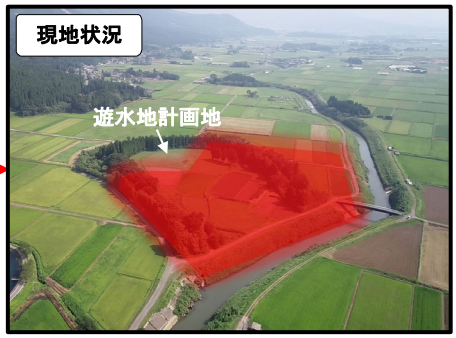
白川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	遊水地の整備	熊本県

○白川水系河川整備計画に基づき、浸水被害解消のため黒川遊水地群の整備を実施中。

位置図





■令和4年度時点の取組進捗状況

・跡ケ瀬遊水地において関係機関との調整を図りながら、用地買収等を継続実施中（取得率73%）。

用地取得及び埋蔵文化財等の調整が完了した箇所から工事に着手（排水樋管工事中）。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
河道掘削、横断工作物の対策、堤防整備、橋梁架替、遊水地整備	遊水地の整備	R4時点		目標

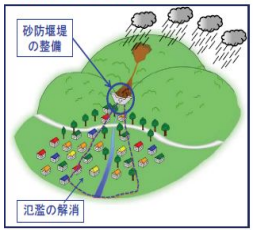
緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	砂防堰堤整備等による土砂洪水氾濫対策	（熊本県）

〇豪雨による山腹崩壊や土石流等に起因する災害から住民の命とくらしを守るため、人家等に対する直接的な土砂災害防止及び下流河川の河床上昇に伴う洪水被害の防止を図ることを目的として砂防事業を実施中。

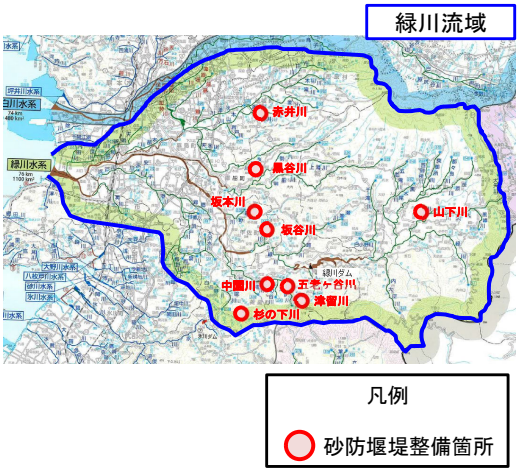
■砂防堰堤整備

砂防堰堤があると・・・



土石流となって流れ出てくる土砂や流木を砂防堰堤でしっかりと受け止めることで、下流の民家等に被害が出るのを防ぎます。

位置図（令和４年度）



事業の進捗状況

R4完成：坂本川砂防堰堤（甲佐町）

R4完成：坂谷川砂防堰堤（甲佐町）

砂防堰堤の効果事例

土砂・流木被害を防止

■令和4年度時点の取組進捗状況

・砂防堰堤を9箇所で整備中（令和4年度に2箇所完成）。

・令和5年度以降も、継続して砂防堰堤の整備及び新規整備箇所の調査を実施

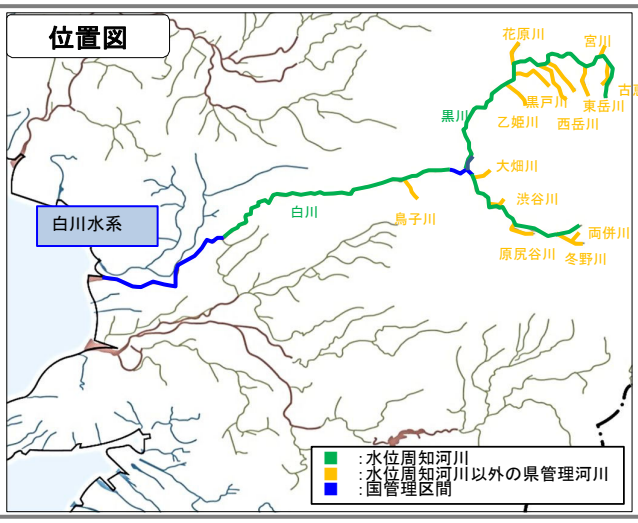
対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
土砂洪水氾濫対策	砂防堰堤整備	R4時点		目標

白川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

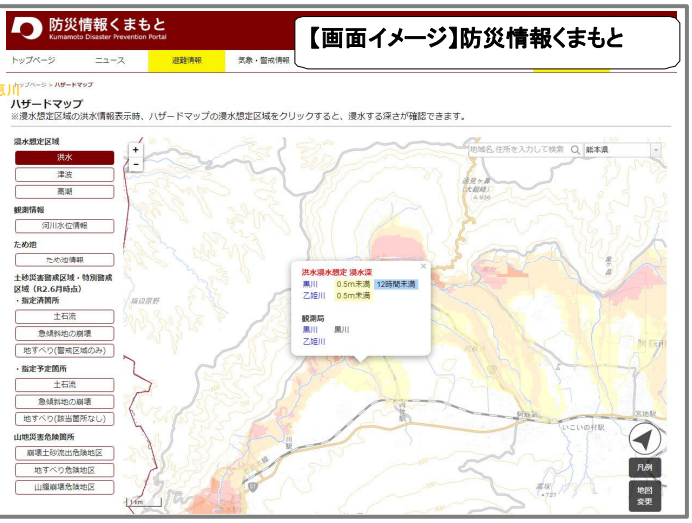
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	洪水・土砂災害ハザードマップ土地のリスク情報の充実（浸水想定区域図の作成）	（熊本県）

〇白川水系の洪水浸水想定区域図（想定最大規模）については、水位周知河川以外の河川も含む県管理河川全１６河川において、令和４年３月までに作成・公表済み。

〇作成した洪水浸水想定区域図をより分かりやすく閲覧できるよう、県ホームページ「防災情報くまもと」の改修を実施した。



【画面イメージ】防災情報くまもと



■令和4年度時点の取組進捗状況

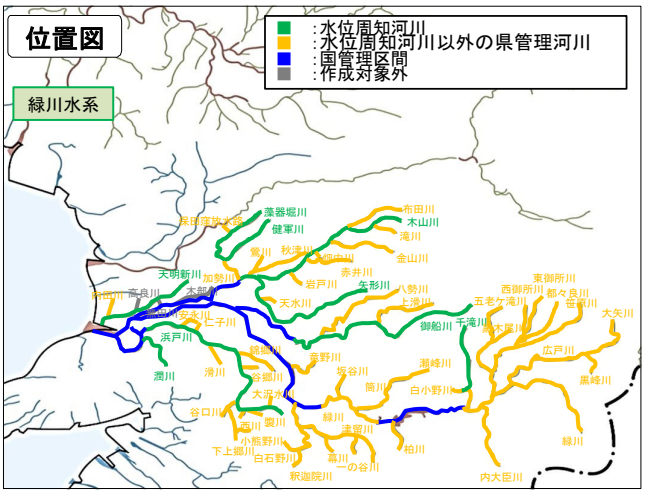
・令和3年度末までに作成・公表した洪水浸水想定区域図については、県ホームページ「防災情報くまもと」の改修を実施し、令和5年１月末より公表した。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
避難体制等の強化	水位周知河川以外の河川の洪水浸水想定区域図の作成	R4末時点		

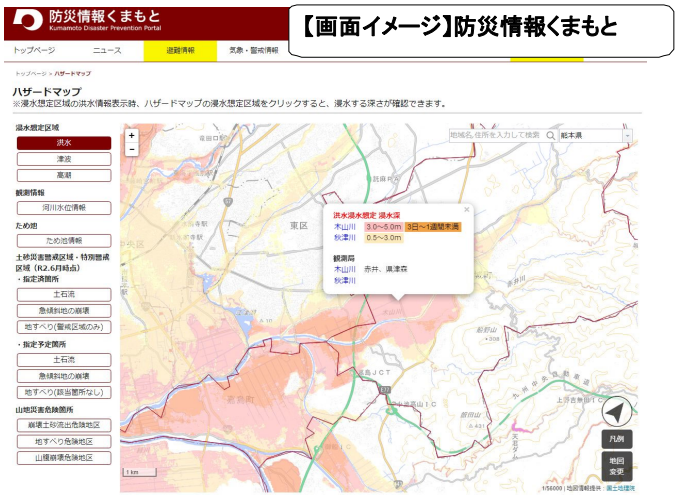
緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	洪水・土砂災害ハザードマップ土地のリスク情報の充実（浸水想定区域図の作成）	（熊本県）

○緑川水系の洪水浸水想定区域図（想定最大規模）については、水位周知河川以外の河川も含む県管理河川５６河川において、令和４年３月までに作成・公表済み。
○作成した洪水浸水想定区域図をより分かりやすく閲覧できるよう、県ホームページ「防災情報くまもと」の改修を実施した。



【画面イメージ】防災情報くまもと



■令和4年度時点の取組進捗状況
・令和3年度末までに作成・公表した洪水浸水想定区域図については、県ホームページ「防災情報くまもと」の改修を実施し、令和5年１月末より公表した。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
避難体制等の強化	水位周知河川以外の河川の洪水浸水想定区域図の作成	R4末時点		

白川・緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	雨水流出抑制	熊本市

○一定規模以上 (5000㎡)の開発行為に対する雨水貯 留施設(調整池)の 設置を推進
○一定規模以上 (1000㎡)の開発行為に対する雨水浸 透ます設置を推進
○透水性舗装を推進

■取組内容の説明
■熊本市での設置例

■ 開発区域の面積5, 000㎡以上

5,000㎡以上の開発行為に対する調整池の設置例

■ 開発区域の面積5, 000㎡未満

1, 000㎡以上の開発行為に対する新設道路内、雨水浸透桝の設置例

■ 敷地内からの雨水流出抑制対策
透水性舗装等を推進

駐車場内の透水性舗装施工例

■令和4年度時点の取組進捗状況

開発行為申請に対し雨水流出抑制指導を行っている。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
流域の雨水貯留機能向上	一定規模以上の開発行為に対する雨水貯留施設設置指導	R4時点		目標

白川・緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	住宅等における雨水浸透施設の設置補助	熊本市

○地下水の涵養対策、節水対策及び雨水の流出抑制による水害軽減を図るため、雨水浸透ますの設置を推進する。

■取組内容の説明

（住宅等における雨水浸透施設の設置補助）

（参考配置図）

（着工前写真）

（竣工写真）

■令和4年度時点の取組進捗状況

令和3年度までにおいて、雨水浸透桝7274基※の設置補助を行っている。
令和4年度においては、令和5年1月末時点において、雨水浸透桝8基※の設置補助を実施した。

※熊本市域全域

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
流域の雨水貯留機能向上	雨水貯留施設の設置補助	R4時点		目標

緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道拡幅、橋梁架替、既存調整池容量拡充、校庭貯留、河川浚渫等	熊本市

○洪水による被害の防止・軽減を図るため、河道拡幅、橋梁架替、貯留施設の整備、河川の浚渫等を実施。

■取組内容の説明

【整備前】河道拡幅（旧天明新川）

【整備後】河道拡幅（旧天明新川）

既存調整池容量拡充の状況（鶯川調整池）

■令和4年度時点の取組進捗状況

改修を実施している主な河川の整備率は以下のとおり。
健軍川（約82%）、藻器堀川（約72%）、鶯川（約54%）、旧天明新川（約14%）。 ※令和4年4月時点

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
支川等氾濫対策	中小河川の河道拡幅・橋梁架替・河床掘削等	R4時点		目標

緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	雨水排水施設保全事業（雨水排水用及び農業用排水排水機場の改築更新等）	熊本市

〇大雨時における浸水被害軽減を目的に野田排水機場のポンプ能力を現状の約1.5倍（1.2㎥/ｓ⇒1.7㎥/ｓ）に増強を図る。
〇老朽化した第一海路口排水機場の施設更新を行うとともに排水能力の増強を図る。（ 3.0㎥/ｓ⇒8.0㎥/ｓ）

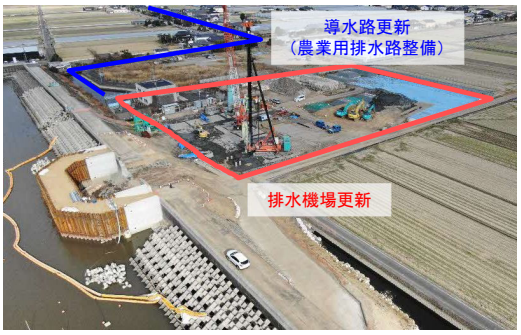
■取組内容の説明 （雨水排水用排水機場ポンプ改築更新等）

（野田地区浸水状況）

（野田排水機場ポンプ増強着手前）

（農業用排水機場ポンプ改築更新等）

（第一海路口排水機場更新）



■令和4年度時点の取組進捗状況

雨水排水用排水機場の改築更新等については、野田排水機場のポンプ増強において令和3年度まで
に流出解析モデルを用いたシミュレーション、基本設計、詳細設計を実施し、令和4年度より工事着手した。

農業用排水機場の改築更新等については、第一海路口排水機場の更新を実施している。（H27～R6）

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
支川等氾濫対策	排水機場整備	R4時点		目標

緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

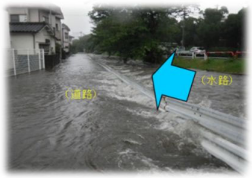
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	浸水解消対策事業（下水道浸水対策事業、一般排水路整備、農業用排水路整備）	熊本市

〇大雨時における浸水被害軽減を目的に下水道浸水対策、一般排水路整備、農業用排水路整備を実施する。
〇市街化区域における内水対策として、熊本市下水道浸水対策計画に基づき浸水対策重点６地区の整備を実施。

■取組内容の説明

（下水道浸水対策）

（対策前）



（対策後）

（バイパス管の例）

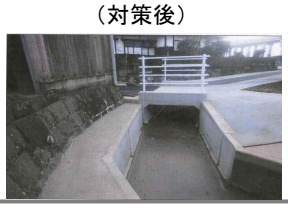
（分水施設の例）

（一般排水路整備）

（未整備水路の改築更新）

（対策前）

（対策後）



（農業用排水路整備）

（未整備水路の改築更新）

（対策前）

（対策後）

（排水機場の老朽導水路更新）

■令和4年度時点の取組進捗状況

内水氾濫対策として浸水解消策事業の下水道浸水対策、一般排水路整備整備、農業用排水路整備を実施する。
下水道浸水対策は、鶯川第2排水対区の詳細設計及び水理模型実験を実施、一般排水路整備は、杉島地区の排水路整備
を実施、農業用排水路整備は、内田沖田地区の排水路整備を実施、今後、海路口（第1期）地区の排水路整備を実施する。

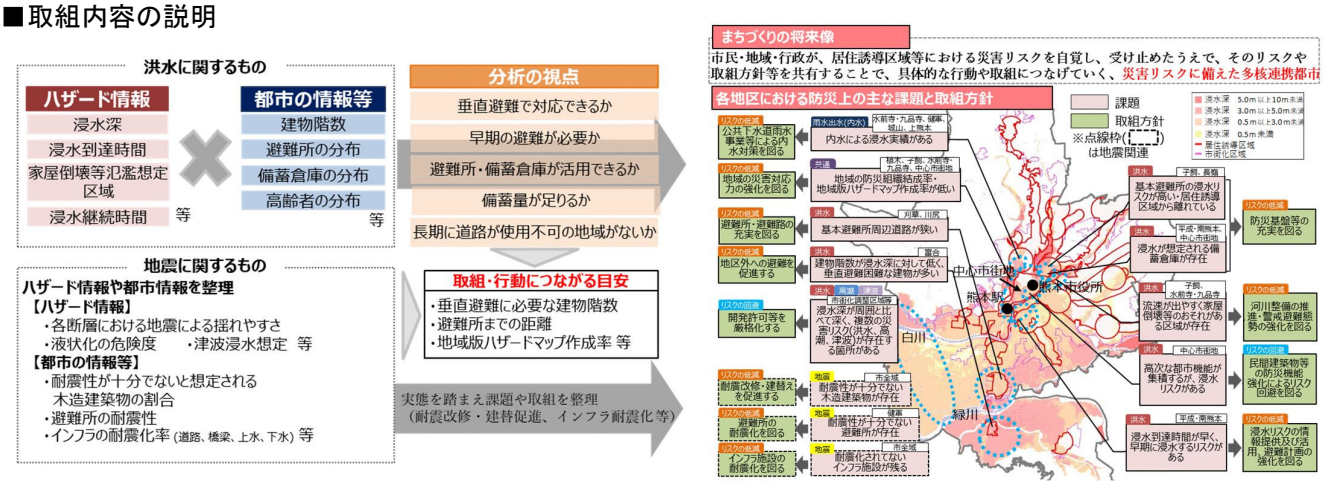
対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
支川等氾濫対策	下水道等の排水施設の整備	R4時点		目標

白川・緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画の策定（防災指針の追加を含む）	熊本市

○立地適正化計画に防災指針を追加し、災害リスクに備えた多核連携都市を目指す。
○居住誘導区域を中心に防災部局等の保有するハザード情報と都市部局が保有する都市の情報を組み合わせ災害リスクを分析。
○各地区の防災上の課題を踏まえ、関係部局と連携し災害リスクの回避や低減を図るための取組を総合的に組み合わせ展開。

■取組内容の説明



■令和4年度時点の取組進捗状況

令和3年3月の立地適正化計画改定により追加した“防災指針”を活用し、防災部局や市民部局などと連携した災害リスクの周知や各種取組の推進を図る。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	立地適正化計画の策定（防災指針の追加を含む）	R4時点		目標

白川・緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域からの移転促進事業	熊本市

熊本県では土砂災害特別警戒区域（以下、レッドゾーン）内に居住する方々を安全な区域へ住宅移転させる「土砂災害危険住宅移転促進事業」を平成２７年に創設しており、本市においても「熊本市土砂災害危険住宅移転促進事業」を創設し、住宅移転を促進している。

■取組内容の説明

土砂移転チラシ

●事業創設後、毎年数件の申請があり、市内の安全な区域へ移転
●対象者には移設費最高300万円の補助あり
●県内移転であれば、本事業の活用が可能である
（各市町村の土砂災害危険住宅移転促進事業を活用）

■令和4年度時点の取組進捗状況

本年度は5件申請があり、レッドゾーンから安全な区域に移転している。（申請件数は市全体の数）

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	土砂災害特別警戒区域からの移転促進	R4時点	住宅移転	

白川・緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害対象を減少させるための対策	がけ地近接等危険住宅移転事業	熊本市

○がけ崩れ、土石流、地すべり等の危険から住民の生命の安全を確保するため、災害危険区域等内に居住する人に対して、補助金を交付し、危険住宅からの移転を促進する。

■取組内容の説明

■事業対象住宅（危険住宅）

次の（1）から（3）のいずれかの区域に存する既存不適格住宅又は（1）から（5）のいずれかの区域に存する住宅のうち、災害等により市が移転勧告、是正勧告、避難勧告、避難指示等を行ったもので、がけ地の崩壊等による危険が著しいもの。

（1） 災害危険区域（急傾斜地崩壊危険区域）

（2） がけ条例により建築を制限している区域

（3） 土砂災害特別警戒区域（通称レッドゾーン）

（4） 土砂災害特別警戒区域（通称レッドゾーン）に指定される見込みのある区域

（5） 事業着手時点で過去3年間に災害救助法の適用を受けた区域

■補助金交付要件

これまで住んでいた住宅を除却し、跡地に住宅等を建築しないこと。

■補助対象経費・補助限度額

経費	経費の内容	補助限度額
除却等費	危険住宅の撤去、動産の移転、仮住居、跡地整備費等に要する経費	1戸あたり97万5千円
建物助成費	危険住宅に代わる住宅の建設、購入及び改修をするために要する資金を金融機関等から借り入れた場合において、当該借入金利子に相当する額の経費	1戸当たり421万円 （建物325万円、土地96万円） ※特殊土壌地帯 1戸当たり731万8千円 （建物465万円、土地206万円、敷地造成60万8千円）

■令和4年度時点の取組進捗状況

令和4年度は補助金交付決定1件

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	がけ地近接等危険住宅移転事業	R4時点		目標

白川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害対象を減少させるための対策	中心市街地における、老朽建築物の建替え促進による防災機能の強化	熊本市

○まちなか再生プロジェクトは、容積率割増等の3つの取組により、老朽建築物の建替え等を促すとともに、併せて、 空地を生み出すことで災害時の避難・活動空間を確保するなど、災害に強い上質な都市空間を創出。

○財政支援の取組では、水害時でも建物の機能が確保されるよう電気設備等の浸水対策※を図ることを条件としている。

※浸水想定深以上に、電気設備を配置すること等。

■取組内容の説明

○令和3年度までの実績は、まちなか再生プロジェクトを活用した建替えが8件。

	ちなか再生プロジェクト適用案件	❶容積率の割増	❷高さ基準の特例承認	❸財政支援
R2年度	（仮称）下通ゲートプロジェクト（旧パルコ）	―	―	○
	（仮称）新市街ホテル店舗複合開発新築計画カンデオホテル）	―	○	○
	（仮称）ダイワロイネットホテル熊本銀座通り	―	―	○
	（仮称）KS2プロジェクト	―	―	○
	（仮称）NTT西日本桜町ビル	―	○	○
	日本生命熊本ビル	○	○	○
R3年度	（仮称）FWプロジェクト	―	―	○
	熊本春日北ビル	―	―	○

（仮称）第1新世界会館（旧パルコ）

■令和4年度時点の取組進捗状況

○“まちなか”における建替え件数※1の目標として、10年※2間で100件※3を掲げている

※1：店舗(ホテル含む)・事務所を含む建築実績

※2：令和2年4月1日～令和12年3月31日

※3：熊本地震前の、まちなかの一定規模以上の建物の新築件数が年5件。これを、倍増させる。（5件×2×10年）

○令和3年度までの実績は、まちなか再生プロジェクトを活用したものが8件、その他が11件。合計19件。

○今後も、まちなか再生プロジェクトの財政支援等により、老朽建築物等の建替えを促進する。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期（1～4年目）	中期（5～7年目）	中長期（8～10年目）
水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	中心市街地における老朽建築物の建替促進による防災機能の強化	R4時点19件		目標100件

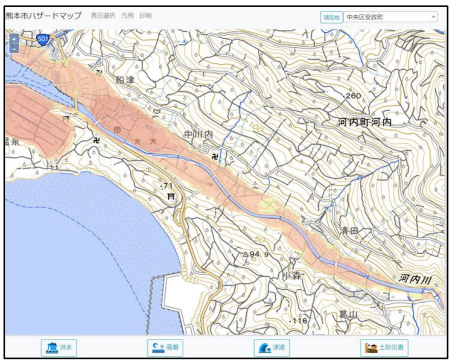
白川・緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	熊本市ハザードマップ等を活用した情報発信	熊本市

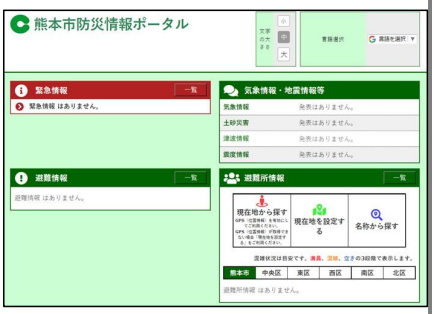
○熊本市ハザードマップや防災情報ポータル等のツールの活用を市広報誌及びマスメディアで周知啓発し、市民に対し災害リスク及び、避難情報を確実に伝えていく。

■取組内容の説明

市政だより（6月号）で出水期前に重点的に広報



熊本市ハザードマップにおいて中小河川の洪水浸水想定区域反映



熊本市防災情報ポータルに避難所ナビを統合

■令和4年度時点の取組進捗状況

熊本市ハザードマップ運用・更新（中小河川洪水浸水想定区域の反映等）
出水期前や防災イベント等での積極的な周知啓発、防災情報ポータルに避難所ナビを統合し効率化

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
避難体制等の強化	防災情報等の周知啓発	R4時点	ハザードマップ等を活用した周知啓発	

白川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	自主防災組織の活動の推進	阿蘇市

○地区防災力向上のため、地区防災リーダーの養成（水防災教育等）により自主防災組織活動の活性化を推進する。

■取組内容の説明

■令和4年度時点の取組進捗状況

自主防災組織のリーダー的役割の位置づけが期待できる方（区長、ボランティア推進員）への研修

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
避難体制等の強化	地区防災リーダーの養成	R4時点		目標

白川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	浸透桝・調整池の整備	大津町

○開発地域における調整池及び浸透桝設置

■取組内容の説明

宅地開発が進んでおり、町中心部への大雨時の影響が大きいため、大津町開発事業等指導要綱に基づき開発地に対して調整池及び浸透桝設置の指導を行っている。
また、宅地に対しての雨水浸透桝の設置補助を行っている。

■令和4年度時点の取組進捗状況

雨水浸透桝設置補助事業、開発事業等指導要綱に基づく浸透桝設置の指導を実施している。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
流域の雨水貯留機能向上	雨水貯留施設の設置補助	R4時点		目標

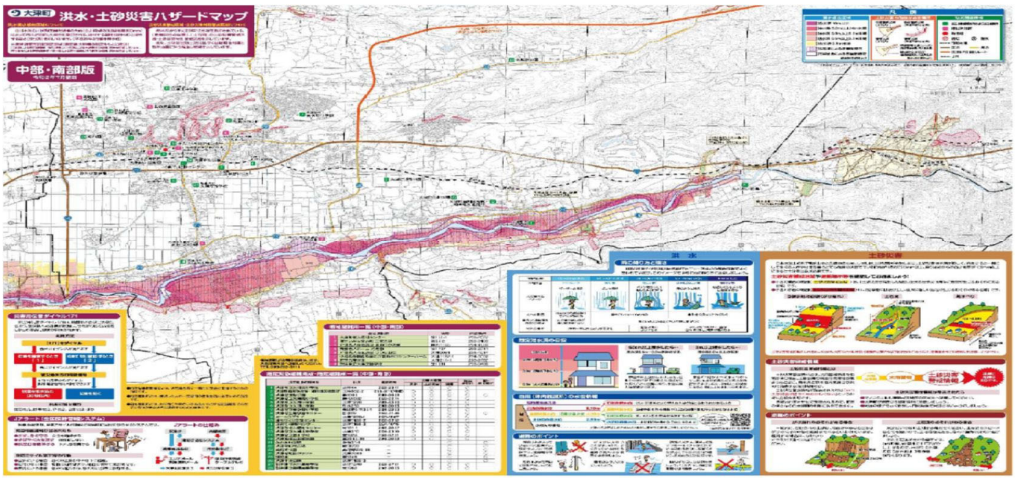
白川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	洪水・土砂災害ハザードマップづくり	大津町

○洪水・土砂災害ハザードマップづくり

■取組内容の説明

白川流域である大津町の中部・南部地区において、洪水・土砂災害ハザードマップを作成し、町民の方々に非常時避難に利用してもらう。



■令和4年度時点の取組進捗状況

令和2年度にハザードマップを作成し、災害時において、町民の方々に利用してもらっている。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
避難体制の強化	ハザードマップ作製	R4時点		

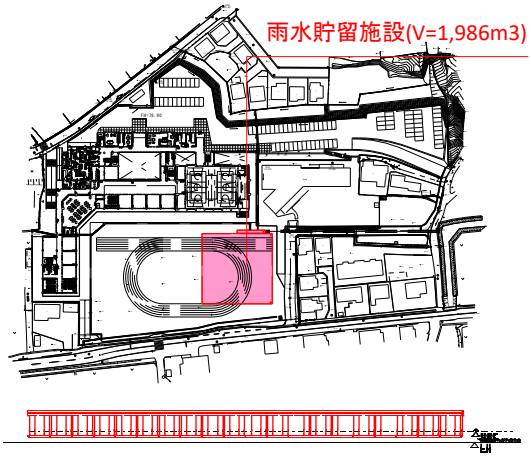
白川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	校庭貯留施設整備	菊陽町

○菊陽中部小学校運動場地下に雨水貯留施設（V=1,986m3）を整備し、放流量の調整を図っている。

■取組内容の説明

菊陽中部小学校
運動場　概要図



■令和4年度時点の取組進捗状況

本取り組みについて、現在新規による計画はありません。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
流域の雨水貯留機能向上	校庭貯留施設の整備	R4時点（完了）		

白川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

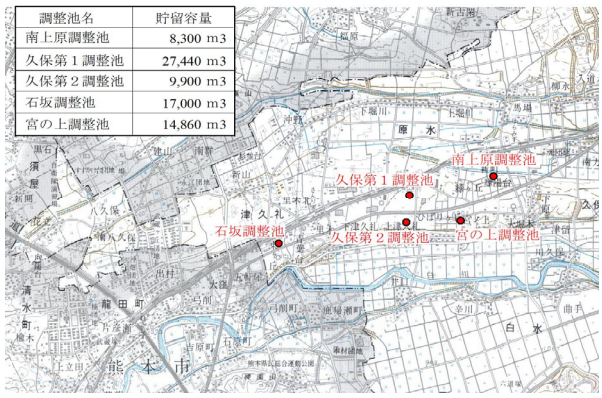
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	調整池整備による下流域への雨水排水調整	菊陽町

○雨水排水を調整池にて浸透させ、流出抑制により、白川下流域への水害軽減を図る。
　５箇所の調整池で77,500m3の貯留量がある。

■取組内容の説明

町内調整池
の位置図

調整池名	貯留容量
南上原調整池	8,300 m3
久保第１調整池	27,440 m3
久保第２調整池	9,900 m3
石坂調整池	17,000 m3
宮の上調整池	14,860 m3



■令和4年度時点の取組進捗状況

本取り組みについて、現在新規による計画はありません。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
流域の雨水貯留機能向上	調整池の整備	R4時点（完了）		

白川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	全町民参加型の「避難フェス」を計画、情報提供媒体（SNS等）の活用	高森町

○迅速な防災情報の提供及び災害等に関する情報の収集を目的とした訓練を実施。避難所の支援、住民への周知啓発をおこなう。

■取組内容の説明

地震発生を想定して、各地区公民館、集会場に避難準備に向けた集合訓練を実施。被災状況の情報収集をSNSを活用、消防団・自主防災組織と連携する。

消防・警察・自衛隊と連携した県の豪雨防災訓練に参加。災害対策本部での情報共有、活動方針の決定、避難受入れ体制の構築を行う。

【防災訓練の状況】

■令和4年度時点の取組進捗状況

震度5弱を想定した総合防災訓練を実施した。LINEで避難者と安否不明者報告。災害対策本部で情報の収集、対策活動報告を行う。継続した計画が必要となる。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
避難体制等の強化	職員、消防団、自主防災組織の連携、気象情報システムの活用	R4時点		目標

白川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災士の養成、自主防災組織の活動の推進	高森町

○防災士の養成、自主防災組織の活動の推進を図り、地域の防災力向上につなげる。

■取組内容の説明

○防災士の養成

防災士資格取得に係る教科書代、資格取得試験受験料を補助

○自主防災組織の活動推進

活動支援金（25,000円/年）の補助

■令和4年度時点の取組進捗状況

防災士資格取得者数：4人

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
避難体制等の強化	防災士の養成、自主防災組織の活動の推進	R4時点		目標

白川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	調整池整備による下流域への排水調整	西原村

〇大雨時における下流域浸水被害防止として、高遊原台地からの排水を貯留・流量調整を行うことにより、浸水被害を軽減させる。

■取組内容の説明

調整池の整備状況

■令和4年度時点の取組進捗状況

調整池の整備において、すべての整備が完了している。現在、維持管理に努めている。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
流域の雨水貯留機能向上	調整池の整備	R4時点（完了済）		

緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	調整池整備による下流域への排水調整	西原村

〇大雨時における下流域浸水被害防止として、高遊原台地からの排水を貯留・流量調整を行うことにより、浸水被害を軽減させる。

■取組内容の説明

調整池の整備状況

■令和4年度時点の取組進捗状況

調整池の整備において、すべての整備が完了している。現在、維持管理に努めている。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
流域の雨水貯留機能向上	調整池の整備	R4時点（完了済）		

白川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	田んぼダム実証試験	南阿蘇村

○熊本大学大学院先端科学研究部の皆川朋子准教授と連携して村内５か所のほ場で田んぼダムの実証試験を実施した

■取組内容の説明

田んぼダムのタイプ	門型（一体型）	穴あき型（機能分離型）	排水舛無型
写真			
メリット	低コスト 設置が容易	農家は通常の管理 農家に外されにくい	低コスト
デメリット	板がなくなりやすい	排水舛への設置が困難	ほ場ごとに形状が異なる

■令和4年度時点の取組進捗状況

村内の水田に門型2か所、穴あき型3か所の田んぼダムを設置し、降雨時の水田の水位を水位計「水田farmo」で測定した。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
流域の雨水貯留機能向上	水田の貯留機能向上	R4時点		目標

緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

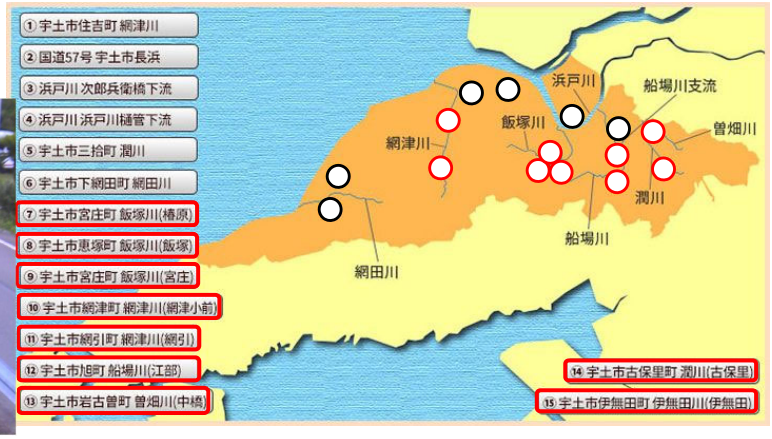
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	監視カメラの追加設置	宇土市

○簡易型河川監視カメラを設置し，沿線居住者に対し河川状況をインターネットで公開することにより，自主的避難の判断材料とする。

■取組内容の説明

河川監視カメラ

カメラ画像



宇土市内設置公共ライブカメラマップ　宇土市設置分

■令和4年度時点の取組進捗状況

自主的避難の判断材料となるよう市所有の河川監視カメラの設置箇所に水位表示板を設置した。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
土地の水災害リスク情報の充実	河川監視カメラ等の追加設置	R4時点		目標

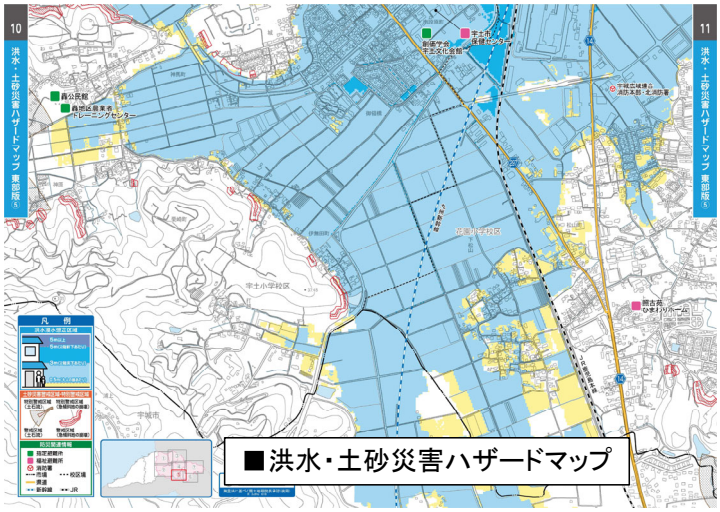
緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	洪水・土砂災害、ため池ハザードマップの作成、防災マップづくり等	宇土市

〇浸水想定区域を想定したハザードマップの作成。

■取組内容の説明

■宇土市総合防災マップ表紙



■洪水・土砂災害ハザードマップ

■令和4年度時点の取組進捗状況

・各種情報を更新したハザードマップを作成し令和4年4月に全世帯へ配布。新たな情報（更新）があれば将来的に見直しを図る。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
避難体制等の強化	洪水・土砂災害、ため池ハザードマップの作成、防災マップづくり等	R4時点		目標

緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	住宅等における雨水浸透施設の設置補助	嘉島町

〇地下水の涵養対策、節水対策及び雨水の流出抑制による水害の軽減を図るため、雨水浸透ますの設置を推進。
〇地下水の保全及び水資源の有効利用の促進を目的に、住居等への雨水貯留タンクの設置を推進。

■取組内容の説明

〇雨水浸透ます
・１基あたり１０，０００円または設置費のいずれか少ない額。（４基上限）

〇雨水貯留タンク
（容量２００Ｌ以上）
・１基あたり設置費の全額、上限３５，０００円
（容量２００Ｌ未満）
・１基あたり設置費の２分の１、上限２４，０００円

■令和4年度時点の取組進捗状況

実績
雨水浸透ます：3基

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
流域の雨水貯留機能向上	雨水貯留施設の設置補助	R4時点		目標

緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	内水排除用仮設ポンプ設置、雨水対策検討	御船町

〇大雨時の浸水被害対策として仮設ポンプを設置し、周辺住宅等の内水浸水被害を軽減する。
〇今後、雨水管理総合計画に基づき、内水被害軽減対策を実施予定。

■取組内容の説明

令和4年度設置状況

R４．７豪雨時

内水排除用仮設ポンプ設置状況

■令和4年度時点の取組進捗状況

〇引き続き、御船川沿いの２地区（２箇所）に仮設ポンプを設置し、内水排除を実施する。
〇雨水管理総合計画に基づき、今後の対策の検討を行う。

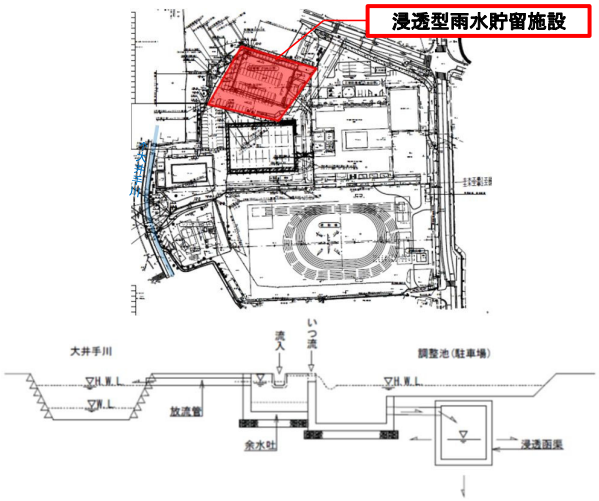
対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
支川等氾濫対策	仮設ポンプによる内水排除、雨水管理総合計画策定に向けた検討	R4時点		目標

緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	小学校敷地内雨水貯留施設整備	甲佐町

〇甲佐小学校駐車場に浸透型雨水貯留施設（V=1,050m3）を整備

■取組内容の説明



■令和4年度時点の取組進捗状況

整備完了

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
流域の雨水貯留機能向上	校庭貯留施設の整備	R4時点（完了）		

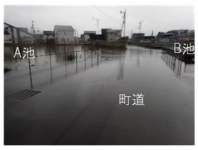
緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	下横田排水ポンプ場整備	甲佐町

〇甲佐町の下横田地区では過去の洪水において道路や家屋の浸水被害が発生しており、令和２年７月豪雨では、内田川の水位上昇により浸水被害が発生している。浸水被害軽減対策として、自然流下できない内水を緑川へ導水し、緑川へポンプ排水できるようにするため、既設調整池の２つを接続し、釜場の新設、排水ポンプの配備を実施した。

■取組内容の説明

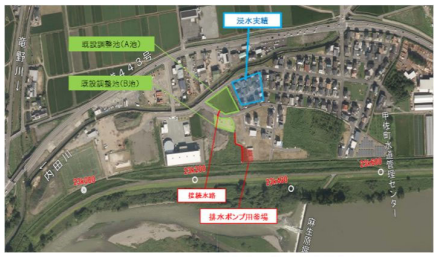
1）過去の被害状況（R2.7豪雨）



A池越水により町道冠水

内田川増水状況

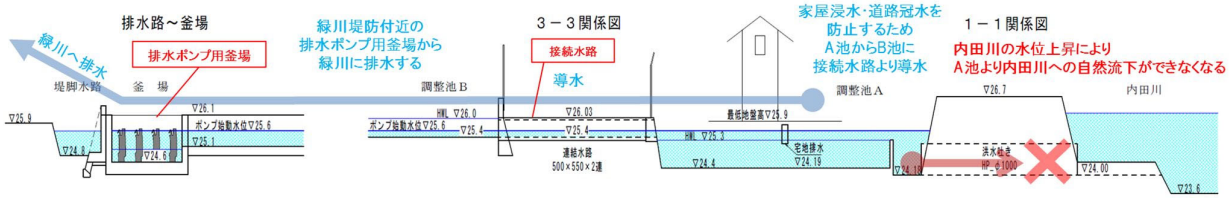
2）内水対策概要図



3）施設完成状況

下横田排水ポンプ場（R3.12完成）

4）対策模式図



■令和4年度時点の取組進捗状況
整備完了

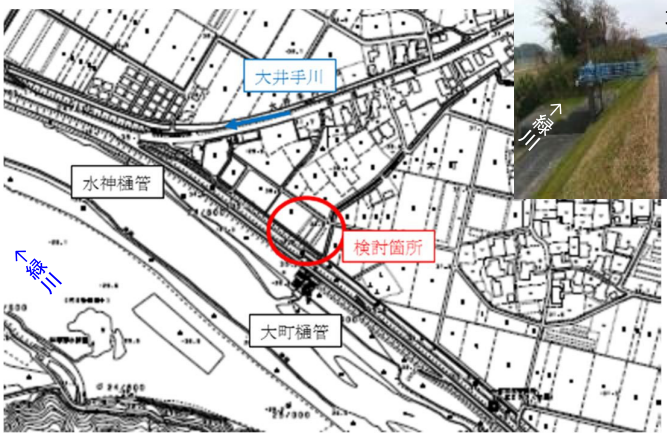
対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
支川等氾濫対策	排水ポンプ用釜場整備	R4時点（完了）		

緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

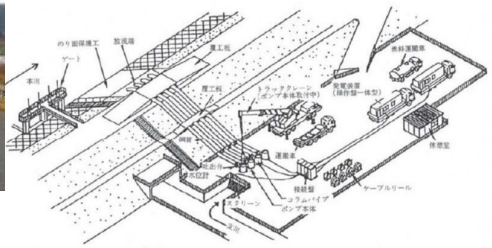
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	大町・吉野樋管樋管排水機場整備	甲佐町

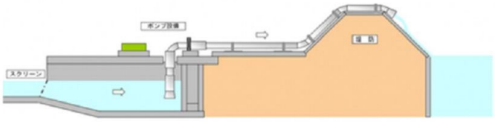
〇近年、頻発する集中豪雨により、大井出川沿川において浸水被害が発生しており、H19.7月洪水、H28.6月洪水においては大町樋門付近で内水被害が発生している。内水対策として、大町樋管に排水機場を整備し、併せて大井手川水位を低下できるよう既存排水路を利用した対策を行う。

■取組内容の説明



緊急排水ポンプ場イメージ図


救急排水ポンプ（水中ポンプ）の例


排水方式：緊急排水ポンプ（堤防乗越）

■令和4年度時点の取組進捗状況
基本設計着手

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
支川等氾濫対策	排水機場整備	R4時点		目標

緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

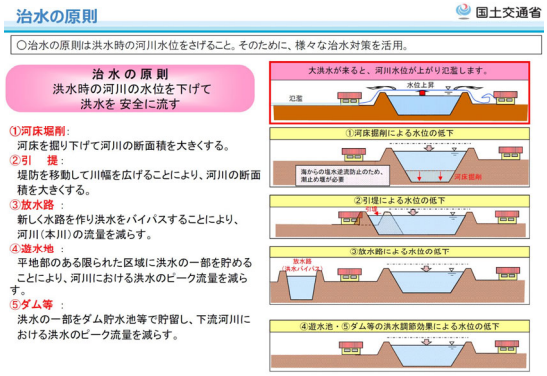
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	馬門川浸水対策	甲佐町

○甲佐町の船津地区・有安地区では過去の洪水において道路や家屋の浸水被害が発生しており、平成１９年７月豪雨では、馬門川の水位上昇により浸水被害が発生している。浸水被害軽減対策として、河道拡幅や洪水調節施設の設置等、地域特性を最大限に活かした対策を検討し工事を実施することで浸水被害の軽減を図る。

■取組内容の説明

1）過去の被害状況（H19.7豪雨）

2）浸水被害軽減対策の検討
様々な治水対策案を検討し、最適な改修案を検討する。



第１回「水災害対策とまちづくりの連携のあり方」検討会（2020年1月8日開催）
資料3－1：水災害対策の取り組み状況について（水管理・国土保全局）より抜粋

■令和4年度時点の取組進捗状況
基本設計着手

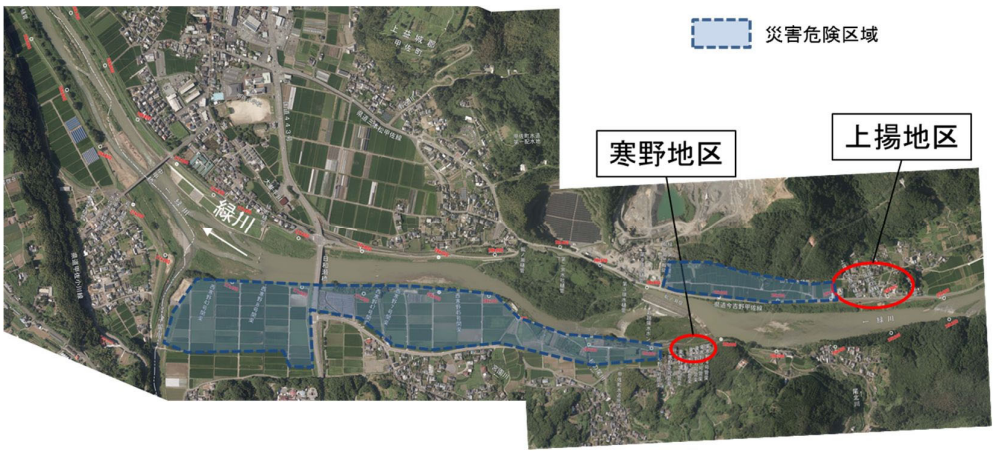
対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
支川等氾濫対策	河川浚渫、遊水池等整備検討	R4時点		目標

緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害対象を減少させるための対策	災害危険区域の指定	甲佐町

○寒野地区、上揚地区の土地利用一体型水防災事業（国土交通省施工）にあわせて、災害危険区域を指定
甲佐町災害危険区域に関する条例（平成18年6月23日 甲佐町条例第15号）

■取組内容の説明



■令和4年度時点の取組進捗状況
区域指定済

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	災害危険区域の指定	R4時点（完了）		

緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	広域避難を考慮したハザードマップ等の検討	甲佐町

〇災害時の備えとして準備しておくためのガイドブックとして総合防災マップを作成。マップに広域避難図を掲載

■取組内容の説明

・B4判の総合防災マップを作成し、全戸配布。
・学校施設や企業、要配慮者利用施設などに総合防災マップとあわせてA1判ハザードマップを添付して配布。
・町民の防災意識が深まるように別途防災マップ活用のチラシを作成、広域避難についても掲載し配布。

■令和4年度時点の取組進捗状況
作成済・配布済

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
避難体制等の強化	総合防災マップ作成	R4時点（完了）		

緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	雨水浸透ますの設置補助	益城町

〇地下水の涵養対策、節水対策及び雨水の流出抑制による水害軽減を図るため、雨水浸透ますの設置を推進。

■取組内容の説明
〇雨水浸透ます設置の補助額
・1基当たりの設置費の全額とし、10,000円を上限とする。（1,000円未満は切り捨て）

■令和4年度時点の取組進捗状況
4件（13基）の申請があり、補助を行なった。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
流域の雨水貯留機能向上	雨水貯留施設の設置補助	R4時点		目標

緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	雨水ポンプ場の建設・仮設排水ポンプによる内水排水	益城町

〇熊本地震で地盤が沈下し、出水期に内水被害が発生している３地区において、浸水被害を解消するため、益城町雨水管理総合計画に基づき、雨水ポンプ場を建設中
〇熊本地震で地盤が沈下し、出水期に内水被害が発生している３地区に、仮設の排水ポンプを設置することで、内水被害を軽減

■取組内容の説明

施工状況（福富地区）

施行状況（安永地区）

仮設ポンプによる排水状況

■令和４年度時点の取組進捗状況

３地区のうち２地区については、ポンプ場建設工事に着手しており、令和５年の稼働に向けて施工中である。

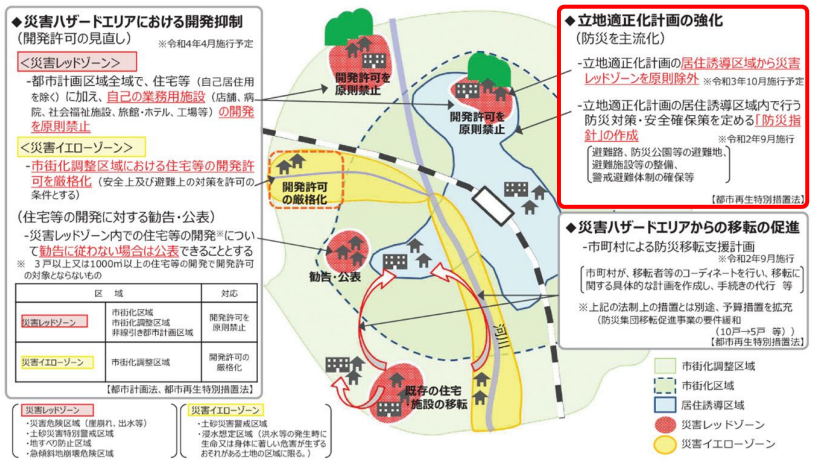
対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
支川等氾濫対策	雨水ポンプ場の建設	R4時点		目標

緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画の策定（防災指針の追加を含む）	益城町

〇立地適正化計画の策定（防災指針の追加を含む）により、災害リスクを考慮した安全なまちづくりを進める。
〇災害リスク情報（浸水想定区域等）を活用した居住誘導区域の検討。
〇居住誘導区域内では、「防災指針」に基づく、防災・減災対策を検討。

■取組内容の説明



出典元：国土交通省「改正都市再生特別措置法について」

■令和４年度時点の取組進捗状況

令和４年３月に立地適正化計画を策定した。　※益城町では「防災指針」を作成し、適切に災害リスク分析を行い、災害リスクが高い地域を原則居住誘導区域から除外するとともに、誘導区域に残存する災害リスクに対して防災・減災対策を進めている。

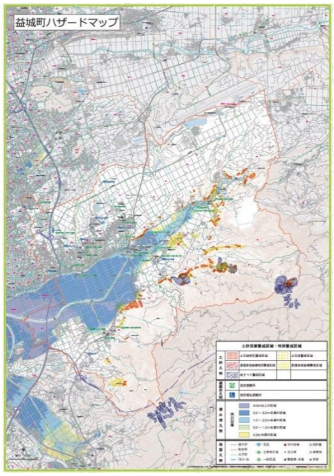
対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	立地適正化計画の策定（防災指針の追加を含む）	R4時点		目標

緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	ハザードマップの一部更新（全戸配布）	益城町

〇水防法第１４条に基づく洪水浸水想定区域の変更に伴い、ハザードマップを改訂し、全戸配布を行う。
〇災害時におけるマイタイムラインの掲載、気象情報の知識や避難路、避難場所の確認を行うことで、いざという時の迅速な対応に役立ててもらう。

■取組内容の説明



■令和4年度時点の取組進捗状況
令和3年6月に改訂を行い、全戸配布を行なった。また、町のホームページにも掲載し、周知を行なった。

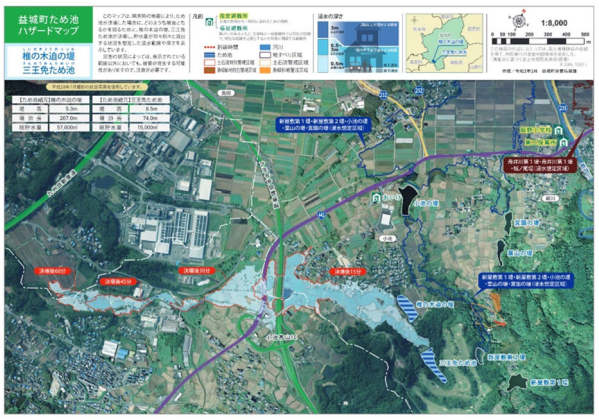
対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
避難体制等の強化	ハザードマップの一部更新（全戸配布）	R4時点		目標

緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	ため池ハザードマップの作成	益城町

〇ため池堤体の決壊が発生した場合を想定し、氾濫水の浸水想定区域・浸水深、避難場所や避難時の注意点などを掲載したため池ハザードマップを作成する。
〇ため池災害時に備え、迅速な避難行動ができるように活用してもらう。

■取組内容の説明



■令和4年度時点の取組進捗状況
15箇所のため池を6つのマップに分けて作成（令和3年3月）し、該当する地区に対して全戸配布を行なった。
また、4月に町ホームページに掲載し、併せて重点ため池については、現地に立看板を設置し、災害対策強化を行なった。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
避難体制等の強化	ため池ハザードマップの作成	R4時点		目標

緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災士の養成、自主防災組織の活動の推進	益城町

〇防災士の養成、自主防災組織の活動の推進を図り、地域の防災力向上につなげる。

■取組内容の説明

〇防災士の養成

防災士資格取得に係る教科書代、資格取得試験受験料、防災士登録料を全額補助

※ただし、資格取得後、益城町防災士連絡協議会に入会することが条件

〇自主防災組織の活動推進

設立支援金（50,000円）、活動支援金（25,000円/年）の補助

■令和4年度時点の取組進捗状況

防災士資格取得者数：11人

自主防災組織数：11団体（うちR3年度新規設立：1団体）

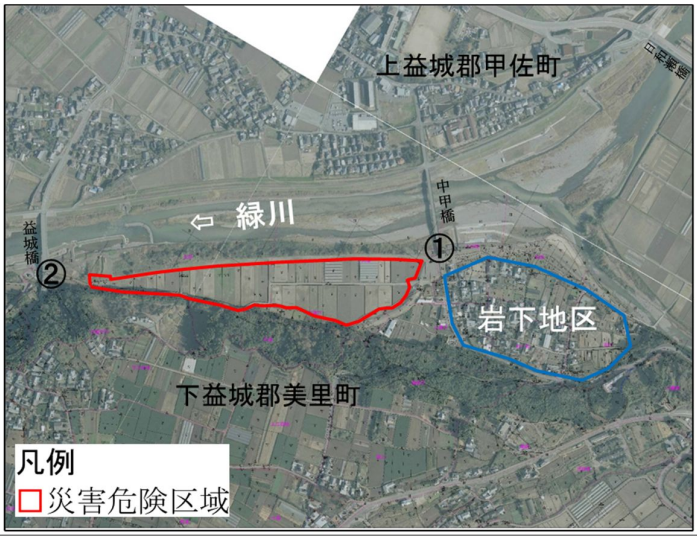
対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
避難体制等の強化	防災士の養成、自主防災組織の活動の推進	R4時点		目標

白川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害対象を減少させるための対策	災害危険区域の指定	美里町

〇出水による災害を未然に防止するため建築物の建築制限を行うため災害危険区域を指定する。
□美里町災害危険区域に関する条例（平成16年11月1日条例第138号）

■取組内容の説明



■令和4年度時点の取組進捗状況

条例を制定済で指定区域に変更はないため、取組進捗なし

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	災害危険区域の指定	R4時点		

緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	総合防災マップの配布、自主防災組織活動	美里町

○美里町総合防災マップは町民が災害による被害に遭う前に的確な避難行動をとるための一助として全戸に配布している。
○自主防災組織は現在６１組織が活動を行っており避難訓練や情報伝達訓練、資機材の点検などを行っている。町でも今後は自主防災組織への地区防災計画の作成を支援する。

■取組内容の説明

総合防災マップ

自主防災組織(防災訓練及び代表者研修の様子)

■令和4年度時点の取組進捗状況

・令和4年度は6月5日に自主防災組織一斉（参加組織のみ）の避難訓練や情報伝達訓練を実施した。

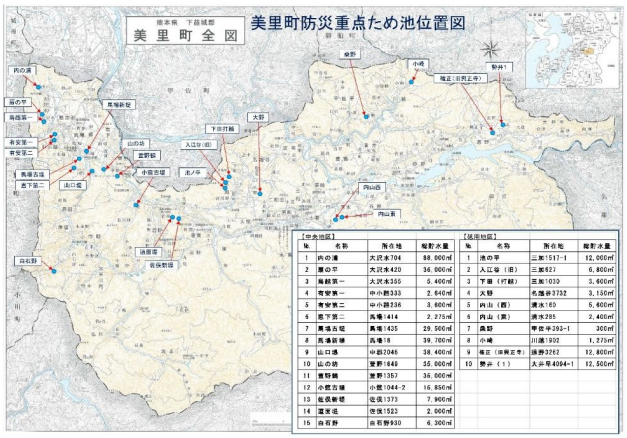
対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
避難体制の強化	総合防災マップ配布、自主防災組織活動	R4時点		目標

白川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

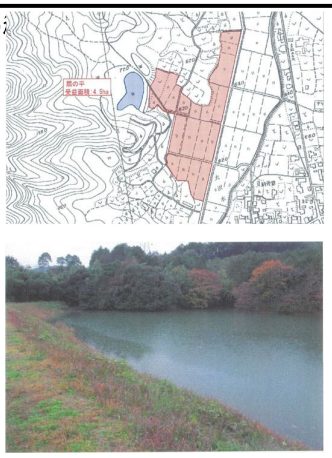
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	ため池ハザードマップの作成	美里町

○ため池ハザードマップとは、規模の大きな地震によりため池の堤体が決壊した場合の備えとして、安全で迅速な避難行動に役立てていただくことを目的に作成するものです。
○本町には51箇所のため池があり、内25箇所を防災重点ため池として指定し、令和２年度に指定した全箇所についてハザードマップを作成した。また、令和４年度には同箇所の防災重点ため池について看板設置を予定している。

■取組内容の説明



扇の平ため池



■令和4年度時点の取組進捗状況

令和4年度は防災重点ため池がある地区の公民館に看板を設置予定。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
避難体制等の強化	ため池ハザードマップの作成	R4時点	目標	

緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	総合防災マップの配布と防災アプリの活用	山都町

○水害・土砂災害等に関する危険区域の周知や、災害発生時に的確な行動をとるための情報提供を目的とした総合防災マップを町内全戸に配布。
○スマートフォンを活用した迅速な防災情報の提供及び災害等に関する情報の収集を目的とした防災アプリの導入。

■取組内容の説明

土砂災害警戒区域のほか浸水想定区域や避難所情報等を掲載した総合防災マップを作成し、町内の全世帯へ配布。地震や火災発生時の行動マニュアル等も掲載し、自主防災組織との連携により活用促進を図っている。

消防・警察・自衛隊と連携した町の総合防災訓練を実施。消防団は防災アプリの写真投稿機能等を活用し、災害発生現場の詳細な情報をいち早く災害対策本部へ伝達した。

【総合防災マップ】

【防災訓練の状況】

【防災アプリの画面】

■令和4年度時点の取組進捗状況
豪雨と地震を想定した防災訓練を実施した。消防、警察、自衛隊、消防団、地元住民も交えた実動訓練とした。

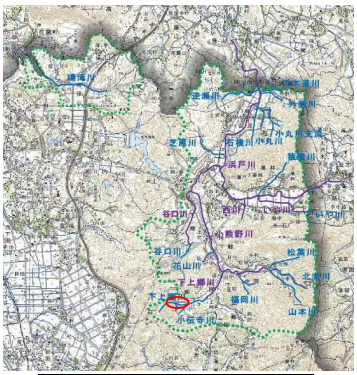
対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
避難体制等の強化	総合防災マップの配布、防災アプリの活用	R4時点		目標

緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

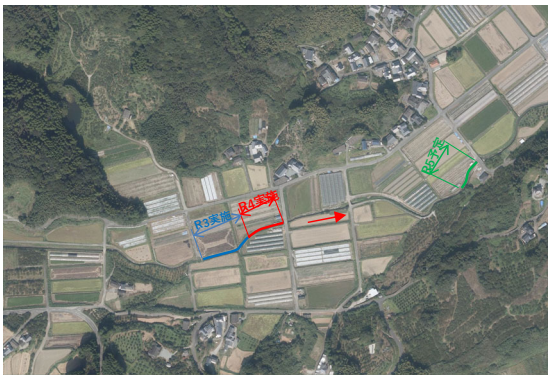
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堆積土浚渫	宇城市

○緑川水系上流部にあたる支流において、周辺地域の水害の減少及び下流部（本流）への土砂流出防止を目的に、河川に堆積した土砂の撤去を行う。

■取組内容の説明



·····	流　域
———	指定区間
———	準用・普通河川



土砂撤去箇所及び撤去状況

R3実施箇所

R4実施箇所

R5予定箇所
R4河川点検結果

■令和4年度時点の取組進捗状況
出水期前後の河川パトロールを実施し土砂流出及び堆積が多い箇所の堆積土を撤去する。

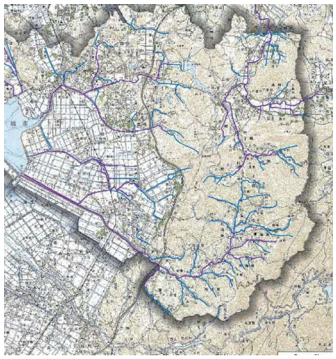
対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
支川等氾濫対策	堆積土撤去	R4時点		目標

緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

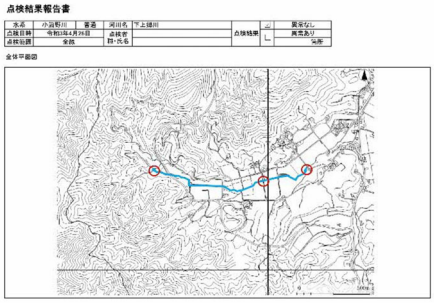
被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	河川の定期的なパトロール	宇城市

○河川の定期的なパトロール
河川のパトロールを実施し、変異箇所等の存在を早期に発見し処置する。

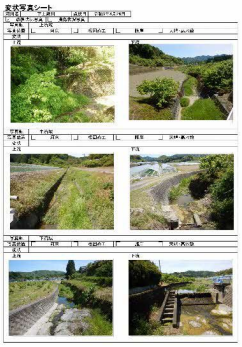
■取組内容の説明



パトロール対象河川（一部）



点検箇所



点検写真

チェックシート

■令和4年度時点の取組進捗状況

河川パトロール（出水期前後）を実施

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
避難体制等の強化	河川パトロール	R4時点		目標

白川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	立野ダム建設	国土交通省 立野ダム工事事務所

○白川沿川の洪水被害を防ぐことを目的に、昭和28年6月洪水と同程度の洪水を安全に流すことを目指して、基準地点である代継橋地点における基本高水のピーク流量3,400m3/sを、立野ダムにより400m3/sの洪水調節を行い、計画高水流量3,000m3/sに低減し、洪水被害の防止又は軽減を図る。

■取組内容の説明

立野ダム位置図

立野ダムの工事状況（令和5年1月）
（下流側より望む）

立野ダムの完成イメージ

■令和4年度時点の取組進捗状況

令和5年1月末時点でのコンクリート打設量は累計約34．4万m3で、進捗率は約95%となっています。
令和5年4月にはダム本体のコンクリート打設が完了予定です。
令和5年度よりダム運用開始となるため、出水期前にダム放流連絡協議会を開催し、関係機関へ情報提供を行います。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
立野ダム建設	ダム建設	R4時点	目標	

緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	既存ダムの洪水調節機能の強化	国土交通省 緑川ダム管理所

〇ダムによる洪水調節は、下流の全川にわたって水位を低下させ、堤防の決壊リスクを低減させるのに加え、内水被害等を軽減する有効な治水対策である。
〇緑川水系においても、緊急時に既存ダムの有効貯水容量を洪水調節に最大限活用できるよう、事前放流の実施等についてダムの管理者及び関係利水者と治水協定を令和2年5月29日に締結。

■取組内容の説明

【緑川水系既存ダム洪水調節機能強化に係る協議会 メンバー】
国土交通省　熊本河川国道事務所、緑川ダム管理所
熊本県土木部、熊本県企業局、熊本県農林水産部、御船町役場、九州農政局、熊本地方気象台

ダム名	※1 有効貯水 容量（万m³）	洪水調節容量 （万m３）	※2 洪水調節可能 容量（万m³）	水害対策に使える容量 （万m３）
緑川ダム	3,520	2,400	1,341.8	3,741.8
船津ダム	107	0	0	0
天君ダム	134	0	134	134
合　計	3,761	2,400	1,475.8	3,875.8

※1　総貯水容量から堆砂容量及び死水容量を除いた容量
※2　水利用への補給を行う可能性が低い期間等において水位を低下させた状態とする貯水池運用を行うことにより確保可能な容量を含む

〇水害対策に使える容量（ダム）
・協定前：2,400万m³ →：協定後　3,876万m³　約1,500万m³の増加

■令和4年度時点の取組進捗状況

令和2年5月の治水協定締結以降、予測雨量が基準を超過した2回の出水で事前放流を実施している。令和2年9月の台風10号接近時には約350万m3、令和4年9月の台風14号接近時には約475万m3の容量を増強した。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
既存ダムの洪水調節機能の強化	既存ダムの洪水調節機能の強化	R4時点		目標

緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	林野（森林）部門と連携・協働した保安林整備等の検討	緑川流域会議

〇林野（森林）部門と連携し、緑川ダム上流域における森林整備区間の「植樹、下刈、除伐、枝打ち等」の協働作業に取り組むことで、緑川の流域治水（山地の災害防止・水源かん養）に資する。

■取組内容の説明

下刈り状況

植林状況

■令和4年度時点の取組進捗状況

〇緑川流域会議に所属する「天明水の会」が中心となり、大津町の「みず.生まれる里の森」及び南阿蘇村の「若者の森」にて植林活動と下草刈りを実施。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
森林の整備・保全	保安林整備等の検討	R4時点		目標

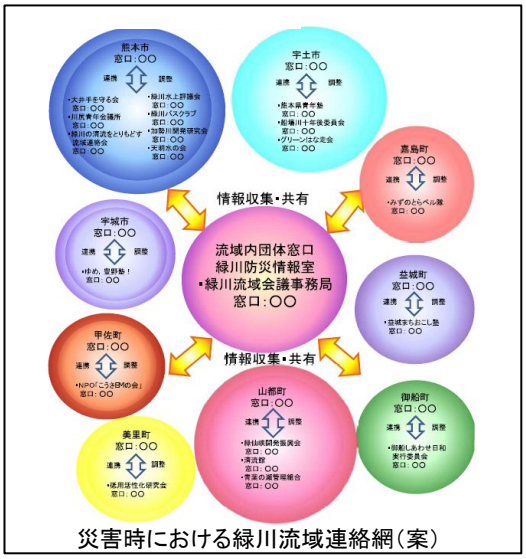
緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	災害時における流域連携による復興支援等の検討	緑川流域会議

○「緑川流域会議」において、災害時に各自治体と各流域団体がお互いに必要な情報を共有し、円滑な災害復旧等に寄与することを目的として、「災害時における緑川流域連絡網（案）」を検討。

■取組内容の説明

被災を受けた球磨川沿川の各地へ全国からの支援物資の中継地点としての支援を実施。（R2）



災害時における緑川流域連絡網（案）

■令和4年度時点の取組進捗状況

○緑川流域会議にて災害時における緑川流域の連絡網作成について検討。来年度以降に作成予定。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
避難体制等の強化	災害時における流域連携による復興支援等の検討	R4時点		目標

白川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	治山事業による土砂や倒木の流出対策	熊本県、熊本森林管理署

○令和２年７月豪雨等により発生した林地崩壊や渓流荒廃を踏まえ、下流への土砂・倒木の流出を抑止するため、緊急的な治山施設等の整備を実施
○山地災害が発生した箇所又はおそれのある箇所（山地災害危険地区）等を対象として、土砂の流出抑止や被害箇所の森林への復旧のため、流木捕捉式治山ダムを設置するなど流木対策を推移。

■取組内容の説明

○渓流荒廃箇所の復旧

・流木の発生や渓岸が浸食された渓流において、谷止工を施工し土砂等の流出を防ぐ取組を実施

・市町村　：産山村
・工事内容：谷止工（スリット）

・市町村　：南阿蘇村
・工事内容：谷止工

○山腹崩壊箇所の復旧

・林地が崩壊した箇所において、山腹工を施工し森林へ復旧する取組を実施

・市町村　：阿蘇市
・工事内容：山腹工

■令和4年度時点の取組進捗状況

○山地災害が発生した箇所について、谷止工や山腹工等の復旧工事を実施。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
○森林整備・保全、治山施設の整備	谷止工、山腹工等の実施	R4時点		目標

緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	治山事業による土砂や倒木の流出対策	熊本県、熊本森林管理署

○令和２年７月豪雨等により発生した林地崩壊や渓流荒廃を踏まえ、下流への土砂・倒木の流出を抑止するため、緊急的な治山施設等の整備を実施
○山地災害が発生した箇所又はおそれのある箇所（山地災害危険地区）等を対象として、土砂の流出抑止や被害箇所の森林への復旧のため、流木捕捉式治山ダムを設置するなど流木対策を推移。

■取組内容の説明

○流木対策の実施

・倒木の流出のおそれがある渓流に、立木捕捉式ダムを施工し流木の発生を防ぐ対策を実施

・市町村　：御船町
・工事内容：谷止工（スリット）

・市町村　：御船町
・工事内容：谷止工（スリット）

○山腹崩壊箇所の復旧

・林地が崩壊した箇所において、山腹工を施工し森林へ復旧する取組を実施

・市町村　：益城町
・工事内容：山腹工

■令和4年度時点の取組進捗状況

○山地災害が発生した箇所について、谷止工や山腹工等の復旧工事を実施。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
○森林整備・保全、治山施設の整備	谷止工、山腹工等の実施	R4時点		目標

白川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	森林の有する公益的機能の発揮に向けた森林整備・保全	熊本県、熊本森林管理署、森林整備センター熊本水源林整備事務所

○森林の有する山地災害防止機能や水源涵養機能等の公益的機能の適切な発揮に向け、山地災害危険地区や白川・緑川上流域等の森林を主体として、引き続き、間伐等の森林整備を推進。
○また、森林整備を効率的・効果的に進めるため、森林経営管理制度の活用や施業技術の実証・普及等を併せて実施。

■取組内容の説明

○白川・緑川上流域の森林整備を主体とした間伐等の森林整備の実施等

間伐後の森林

○森林経営管理制度を活用した、適切な経営管理が行われてこなかった森林の集約

森林経営管理制度を活用した森林の集約化

○造林作業等の省力化・低コスト化に向けた、新たな技術等の実証・普及

苗木運搬用ドローンの導入

■令和4年度時点の取組進捗状況

○白川・緑川上流域の森林を主体とした間伐や再造林、鳥獣被害対策の実施等を行った。
○市町村での森林経営管理制度の活用の促進に向け、市町村職員を対象とした研修の開催や巡回指導による技術支援等を実施した。
○造林作業等の省力化・低コスト化に向け、新技術の導入支援等を通じて、林業現場への導入を進めた。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
森林整備・保全、治山施設の整備	森林整備・保全	R4時点		目標

緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	森林の有する公益的機能の発揮に向けた森林整備・保全	熊本県、熊本森林管理署、森林整備センター熊本水源林整備事務所

〇森林の有する山地災害防止機能や水源涵養機能等の公益的機能の適切な発揮に向け、山地災害危険地区や白川・緑川上流域等の森林を主体として、引き続き、間伐等の森林整備を推進。
〇また、森林整備を効率的・効果的に進めるため、森林経営管理制度の活用や施業技術の実証・普及等を併せて実施。

■取組内容の説明

〇白川・緑川上流域の森林整備を主体とした間伐等の森林整備の実施等

間伐後の森林

〇森林経営管理制度を活用した、適切な経営管理が行われてこなかった森林の集約

森林経営管理制度を活用した森林の集約化

〇造林作業等の省力化・低コスト化に向けた、新たな技術等の実証・普及

コンテナ苗の自動植穴堀機の導入

■令和4年度時点の取組進捗状況

〇白川・緑川上流域の森林を主体とした間伐や再造林、鳥獣被害対策の実施等を行った。
〇市町村での森林経営管理制度の活用の促進に向け、市町村職員を対象とした研修の開催や巡回指導による技術支援等を実施した。
〇造林作業等の省力化・低コスト化に向け、新技術の導入支援等を通じて、林業現場への導入を進めた。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
森林整備・保全、治山施設の整備	森林整備・保全	R4時点		目標

白川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

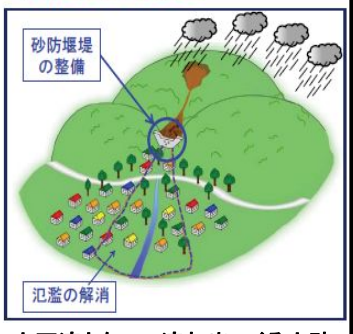
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	砂防堰堤整備等による土砂洪水氾濫対策	国交省 阿蘇砂防事務所 熊本県

〇豪雨による山腹崩壊や土石流等に起因する災害から住民の命とくらしを守るため、人家等に対する直接的な土砂災害防止及び下流河川の河床上昇に伴う洪水被害の防止を図ることを目的として砂防事業を実施中。

■取組内容の説明

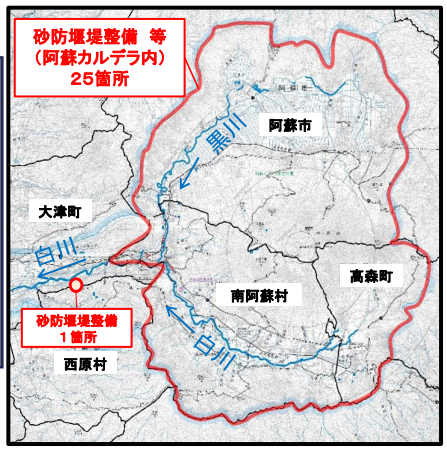
■砂防堰堤整備

砂防堰堤があると・・・



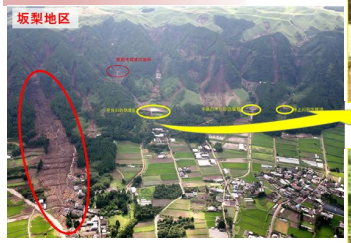
土石流となって流れ出てくる土砂や流木を砂防堰堤でしっかりと受け止めることで、下流の民家等に被害が出るのを防ぎます。

事業箇所図（令和４年度）



事業の進捗状況

砂防堰堤のはたらき



土砂・流木
被害を防止

■令和4年度時点の取組進捗状況

・砂防堰堤を26箇所事業推進中。うち21箇所工事中。（令和4年度5箇所完成ならびに完成予定）
・豪雨時には、整備済みの砂防堰堤が土砂・流木を捕捉し、下流人家等への被害を防止した。

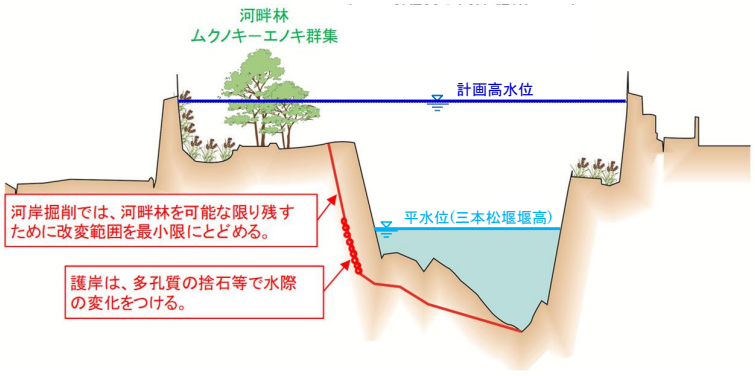
対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
土砂洪水氾濫対策	砂防堰堤整備	R4時点		目標

白川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削	国土交通省 熊本河川国道事務所

○白川水系河川整備計画に基づき、2,400m3/sの流量が安全に流下できる河道とすることを目標に、治水安全度が低い箇所の河道掘削を行う。

■取組内容の説明



河道掘削概要図
（白川9/600付近）

■令和4年度の取組進捗状況

白川水系河川整備計画では直轄管理区間において井樋山堰～泰平橋及び渡鹿堰上流の河道掘削が位置づけられており、令和4年度は第一白川橋梁下流及び蓮台寺橋下流を実施した。

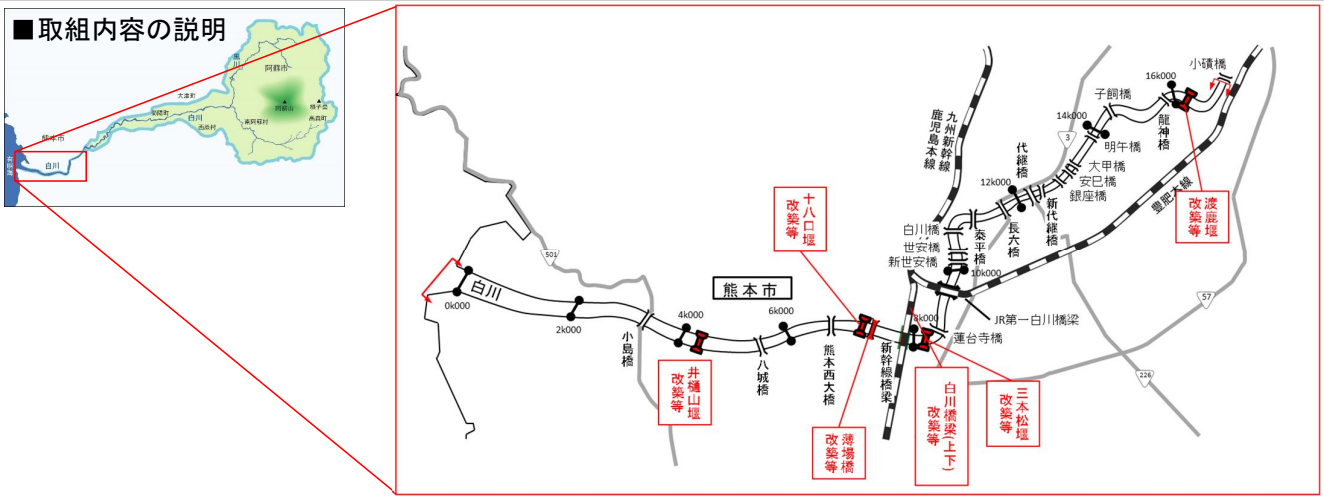
対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
河道掘削、横断工作物の対策、堤防整備、橋梁架替、遊水地整備	河道掘削	R4時点		目標

白川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	横断工作物の対策	国土交通省 熊本河川国道事務所

○白川水系河川整備計画に基づき、 2,400m3/sの流量が安全に流下できる河道とすることを目標に、白川直轄管理区間にある固定堰（井樋山堰、十八口堰、三本松堰、渡鹿堰）及び薄場橋、JR白川橋梁の改築等を実施する。

■取組内容の説明



■令和4年度の取組進捗状況

白川水系河川整備計画では直轄管理区間において固定堰（井樋山堰、十八口堰、三本松堰、渡鹿堰）及び薄場橋、JR白川橋梁の改築等が位置づけられており、令和4年度は調査検討等を実施した。

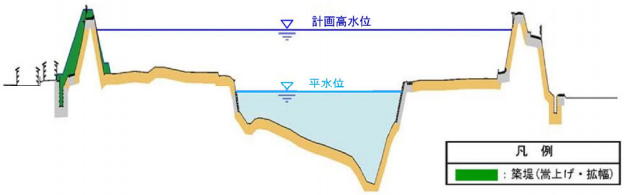
対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
河道掘削、横断工作物の対策、堤防整備、橋梁架替、遊水地整備	横断工作物の対策	R4時点		目標

白川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備	国土交通省 熊本河川国道事務所

○白川水系河川整備計画に基づき、 2,400m3/sの流量が安全に流下できる河道とすることを目標に、堤防高・幅が不足している地区において堤防整備を実施する。

■取組内容の説明



堤防整備概要図
（小島橋下流）

■令和4年度の取組進捗状況

白川水系河川整備計画では直轄管理区間において小島橋下流、大甲橋～明午橋、子飼橋上流の堤防整備が位置づけられており、令和4年度は大甲橋～明午橋、小島橋下流の一部を実施した。

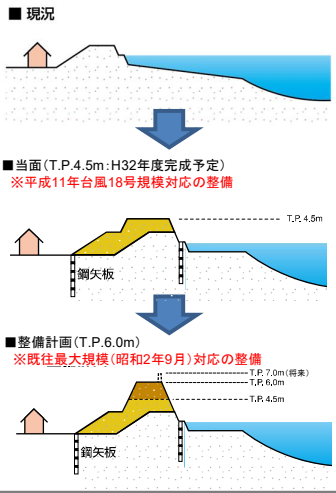
対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
河道掘削、横断工作物の対策、堤防整備、橋梁架替、遊水地整備	堤防整備	R4時点		目標

緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	高潮堤防整備	国土交通省

○緑川水系河川整備計画に基づき、高潮区間（緑川平木橋下流、浜戸川太郎兵衛橋下流）においてまず平成11年9月の高潮規模に対応できるようT.P.4.50mの堤防を整備し、その後、既往最大規模のT.P.6.00mの堤防を整備する。

■取組内容の説明



令和4年度時点の高潮堤防整備状況

■令和4年度時点の取組進捗状況

緑川水系河川整備計画では緑川本川平木橋下流及び浜戸川太郎兵衛橋下流の高潮堤防整備が位置づけられており、令和4年度は本川右岸2km付近のT.P.4.50m整備及び本川、浜戸川の左岸下流より順次T.P.6.00mの整備を実施。

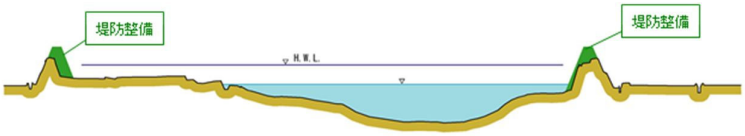
対策内容	実施内容		取組工程の進捗状況		
			短期	中期	中長期
高潮堤防整備	高潮堤防整備	T.P.4.5m対応	R4時点 目標		
		T.P.6.0m対応	R4時点	目標	

緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備	国土交通省

〇緑川水系河川整備計画に基づき、既往最大である昭和18年9月洪水と同規模の洪水が再度発生した場合でも、浸水被害の防止又は軽減が図られることを目標に、堤防高・幅が不足している地区において堤防整備を実施する。

■取組内容の説明



堤防整備イメージ

緑川の堤防整備状況

■令和4年度時点の取組進捗状況

緑川水系河川整備計画では宇土市、熊本市、嘉島町、御船町、甲佐町内において堤防高・幅が不足している箇所の堤防整備が位置づけられており、令和4年度は本川右岸の熊本市南区美登里町において堤防整備を実施。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
河道掘削、堤防整備、橋梁架替、堰改築 等	堤防整備	本川中流部	目標 本川上流部	目標

緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、樹木伐採	国土交通省

〇緑川水系河川整備計画に基づき、既往最大である昭和18年9月洪水と同規模の洪水が再度発生した場合でも、浸水被害の防止又は軽減が図られることを目標に、河積が不足している地区において河道掘削及び樹木伐採を実施する。

■取組内容の説明

河道掘削・樹木伐採イメージ

加勢川の河道掘削の実施状況

■令和4年度時点の取組進捗状況

緑川水系河川整備計画では熊本市、嘉島町、甲佐町内において河積が不足している河道掘削及び樹木伐採が位置づけられており、令和4年度は加勢川下流部の熊本市南区美登里町、中無田町において河道掘削を実施。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
河道掘削、堤防整備、橋梁架替、堰改築 等	河道掘削、樹木伐採 支川加勢川	R4時点	目標 本川中流部 目標	本川上流部 目標

緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	既存ダムの洪水調節機能の強化	国土交通省

〇ダムによる洪水調節は、下流の全川にわたって水位を低下させ、堤防の決壊リスクを低減させるのに加え、内水被害等を軽減する有効な治水対策である。
〇緑川水系においても、緊急時に既存ダムの有効貯水容量を洪水調節に最大限活用できるよう、事前放流の実施等についてダムの管理者及び関係利水者と治水協定を令和2年5月29日に締結。

■取組内容の説明

【緑川水系ダム洪水調節機能協議会 メンバー】(令和3年9月28日設置)
国土交通省　熊本河川国道事務所、緑川ダム管理所
熊本県土木部、熊本県企業局、熊本県農林水産部、御船町役場、九州農政局、熊本地方気象台

ダム名	※1 有効貯水容量（万m³）	洪水調節容量（万m３）	※2 洪水調節可能容量（万m³）	水害対策に使える容量（万m３）
緑川ダム	3,520	2,400	1,341.8	3,741.8
船津ダム	107	0	0	0
天君ダム	134	0	134	134
合　計	3,761	2,400	1,475.8	3,875.8

※1　総貯水容量から堆砂容量及び死水容量を除いた容量
※2　水利用への補給を行う可能性が低い期間等において水位を低下させた状態とする貯水池運用を行うことにより確保可能な容量を含む

〇水害対策に使える容量(ダム)
・協定前：2,400万m³ →：協定後　3,876万m³　約1,500万m³の増加

■令和4年度時点の取組進捗状況

令和4年度は、台風14号の影響により事前放流の基準雨量を超過したため、緑川ダム・船津ダムにおいて事前放流を実施し、緑川ダムでは、洪水調節容量(2,400万m3)に加え、更に475万m3の容量の確保を行った。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
既存ダムの洪水調節機能の強化	既存ダムの洪水調節機能の強化	R4時点		目標

緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害対象を減少させるための対策	河川防災ステーション等の整備	国土交通省

〇緑川下流部（浜戸川）にある既存の防災ステーションに加え、緑川中上流部において新たに防災ステーションや水防拠点を整備することで、災害時において水系全体で円滑かつ効果的な河川管理施設保全活動及び緊急復旧活動が可能となる。

■取組内容の説明

■令和4年度時点の取組進捗状況

緑川上流部における船津地区河川防災ステーションについては、引き続き基盤整備として盛土整備を実施中。既設の浜戸川防災ステーション(緑川)については必要に応じて備蓄資材の整備等を実施していく。

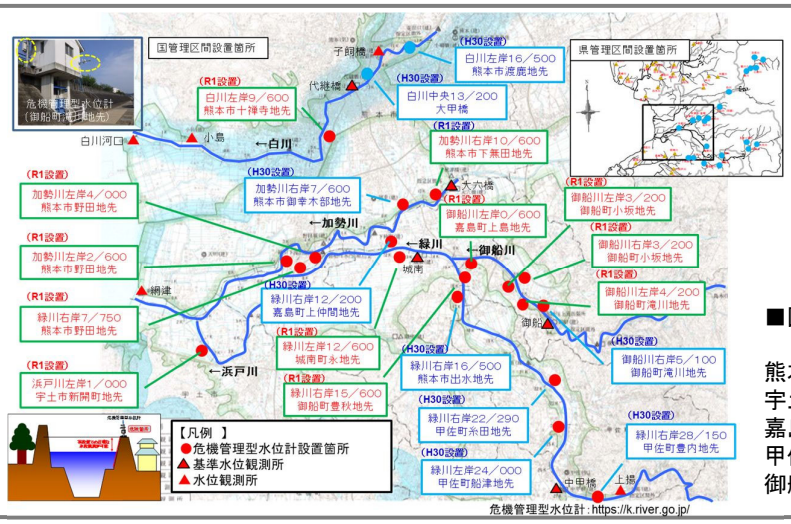
対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	防災ステーション・防災拠点の整備	R4時点		目標

白川・緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	従来型水位計及び危機管理水位計の設置	国土交通省

〇白川、緑川水系の国管理区間において、アドホック水位計を危機管理型水位計に更新し、運用。
〇出水時に危険箇所実位置での水位観測（現状把握）を行うことにより、関係市町へ、より正確な防災情報を提供。

■取組内容の説明



危機管理型水位計：https://k.river.go.jp/

■国管理区間内市町別設置数
熊本市：10か所
宇土市：1か所
嘉島町：2か所
甲佐町：3か所
御船町：5か所

■令和4年度時点の取組進捗状況
白川、緑川水系の国管理区間において、令和4年度時点で危機管理型水位計を21箇所運用中。

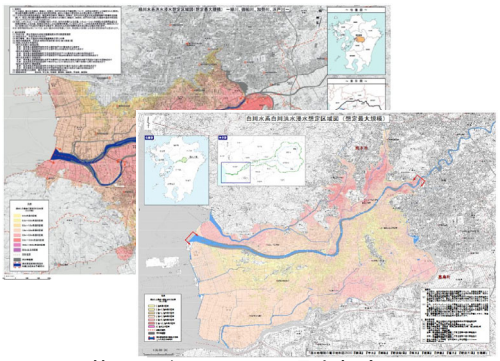
対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
土地の水災害リスク情報の充実	従来型水位計及び危機管理水位計の設置	R4時点		目標

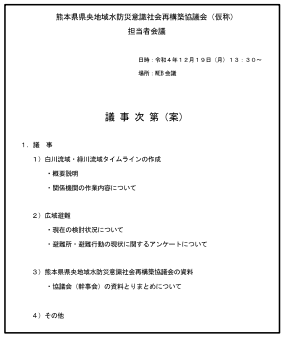
白川・緑川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	広域避難を含むハザードマップ、水防災教育等に関する自治体支援	国土交通省

〇国管理区間のL2浸水想定区域図（白川、緑川）を公表し、各市町の浸水リスク情報を配布。
〇水防災意識社会再構築協議会の担当者会議を開催し、広域避難への取組について説明を行い、問題点等を共有した。
〇学校関係者への「防災教育教材の活用」に向けた普及活動の実施、また教材を教科書の副教材として活用した授業の実施。
〇熊本市教育委員会と熊本県立教育センターのサーバーに教材データをアップロードし、先生方が自由にデータを取得できる環境を整備。また、熊本県立教育センターの依頼で、河川に関する基礎知識、防災教育等の教員向けWEB研修用として資料を作成。

■取組内容の説明


国管理(一級河川)のL2浸水想定区域図を作成・公表（H29.5.30公表）



水防災意識社会再構築協議会の担当者会議を開催

教材データの掲載状況（熊本県立教育センター）

教員向けの研修資料作成

■令和4年度時点の取組進捗状況
浸水想定区域図に関する自治体からの疑義に対する問い合わせ対応等の支援及び教材の更新。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
避難体制等の強化	広域避難を含むハザードマップ、水防災教育等に関する自治体支援	R4時点		目標

資料２－３－１

流域治水の考え方に基づいた流域流木対策の推進について

流域治水の考え方に基づいた流域流木対策の推進について

国土交通省
九州地方整備局
熊本河川国道事務所

「流域治水の考え方に基づいた流域流木対策の推進のための取組について」により、流域流木対策の取組をより一層推進するよう定められており、下記の（１）～（３）を実施する必要がある。
（１）流域流木対策実施要領（R4年1月27日付事務連絡）に基づく対策への移行
（２）流域治水プロジェクトへの反映
（３）連携の強化

これまでの取組〔管理者独自で実施〕

治山（林野・砂防）管理者

- 保安林整備
- 治山ダム等による流木発生の抑制
- 透過型砂防堰堤
- 流木止工等の流木捕捉施設による流木の捕捉
- 土砂や流木の処分

ダム管理者

- 網場による流木捕捉
- ダム湖への土砂流入の抑制
- 土砂や流木の処分

河川管理者

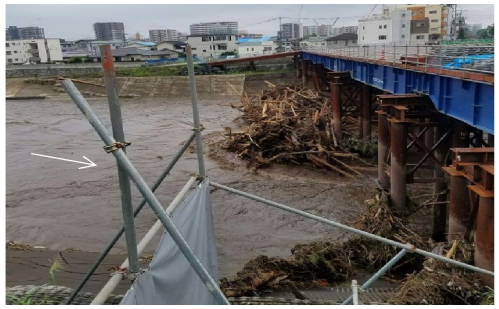
- 土砂掘削
- 流木撤去
- 土砂や流木の処分

透過型砂防堰堤

流木補足工

ダムの流木捕捉（出水前）

ダムの流木捕捉（出水後）


出水後の流木の状況

出水後の流木の状況

これからの取組〔各管理者が協力〕

- 各管理者が協力した土砂流入や流木捕捉への対策
- 土砂や流木の処分方法や処分先の共有
- 流域（特に下流）住民が参加する上流域での植樹等

- 各管理者が一堂に会した勉強会の実施
- 各管理者同士の情報共有
- 協力した一般住民への周知活動　　等

資料２－３－２

熊本県砂防課

土砂・洪水氾濫により大きな被害のおそれのある流域の抽出
～土砂・洪水氾濫対策への取り組み～

○事業目的

近年、豪雨により全国で被害が多発しており、さらに、気候変動に伴う降雨規模の増大に伴い土砂・洪水氾濫による深刻な被害発生のおそれが高まると考えられる。今後は土砂・洪水氾濫のリスクが高い流域を中心に、砂防堰堤や遊砂地等を組み合わせた、より効果的な施設配置計画を検討し、事前防災対策を集中的に推進していくことが必要となる。そこで**熊本県では、土砂・洪水氾濫対策を実施する際の優先箇所を選定するため、県内全域の流域において、「土砂・洪水氾濫により大きな被害のおそれのある流域の抽出」を実施します。**

○土砂･洪水氾濫対策の検討の流れのイメージ

土砂･洪水氾濫により大きな被害のおそれのある流域の抽出

発生ポテンシャル
- ･過去に土砂･洪水氾濫が発生した流域
- ･近年、土砂･洪水氾濫が発生した流域と同様の地形的特徴を有する渓流

被害ポテンシャル
- ･保全対象がある

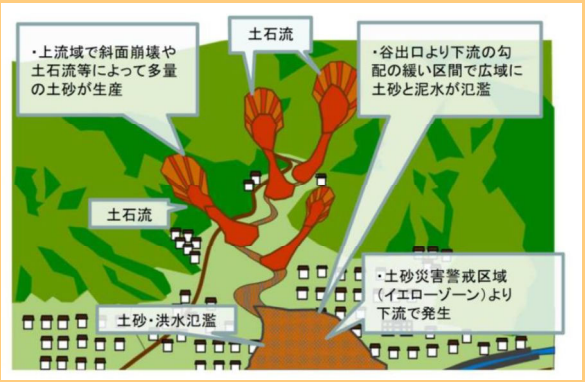
↓

河床変動計算による被害想定、施設効果評価

↓

事業化：砂防堰堤等の整備

○本事業のキーワード



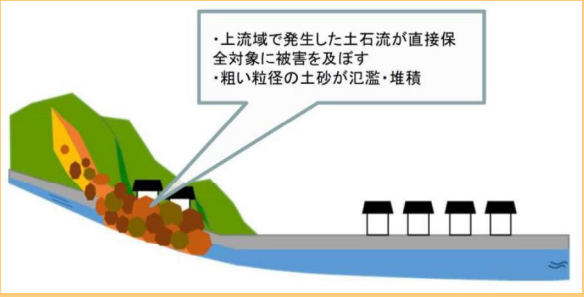
※土砂･洪水氾濫とは

豪雨により上流域から流出した多量の土砂が谷出口より下流の河道で堆積することにより、**河床上昇･河道閉塞**が引き起こされ土砂と泥水の氾濫が発生する現象。**土砂とともに上流域から流出した流木が氾濫**する場合もある。

※従来の砂防事業との違い

従来の砂防事業では、保全対象を土石流から守ることを目的としていたが、本事業は流域特性を反映させ、**土砂･流木の流入を抑制し、氾濫をコントロール**することで、保全対象を守ることを目的とした事業。

土砂･洪水氾濫対策の考え方



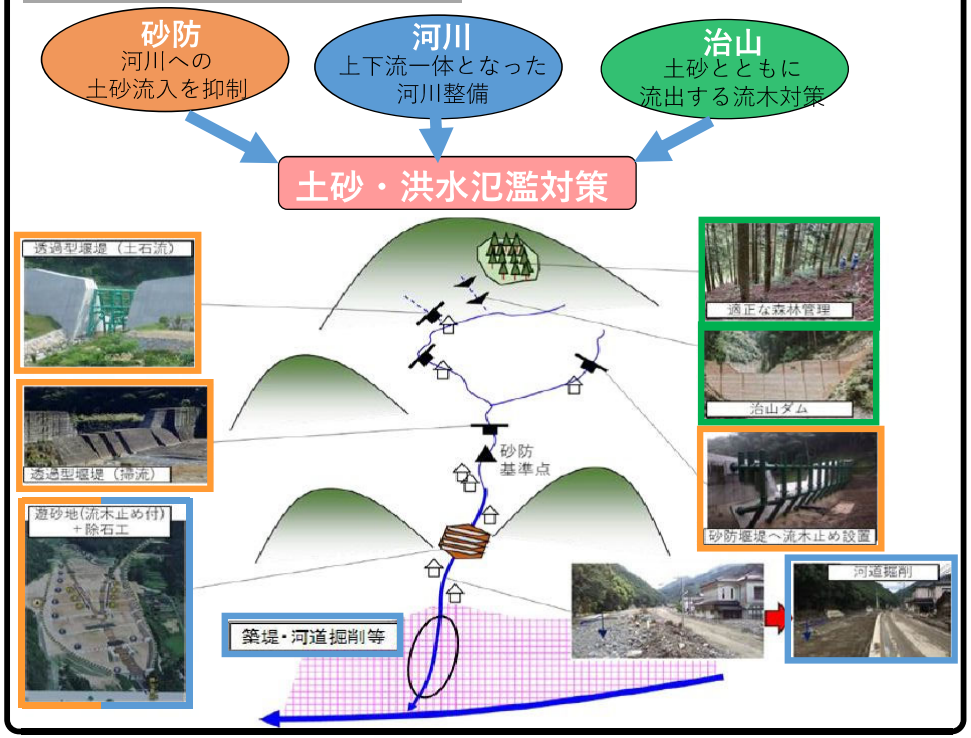
地先砂防の考え方（従来の砂防事業）

土砂・洪水氾濫対策の検討事例
～万江川（球磨郡山江村）での取組み～

取組みの概要

- 令和２年７月豪雨では、万江川において土砂・洪水氾濫により、甚大な被害が発生。そのため、熊本県は緑の流域治水の取組みの１つとして、砂防・河川・治山事業が連携した対策に着手。
- 県内には、万江川の他にも、土砂・洪水氾濫により大きな被害のおそれのある流域が存在。
- 万江川での取組みをモデルとして、土砂・洪水氾濫対策が必要な球磨川流域の他の流域へ拡大。

土砂・洪水氾濫対策のイメージ



Ｒ２年に被災した万江川をモデル事業として実施

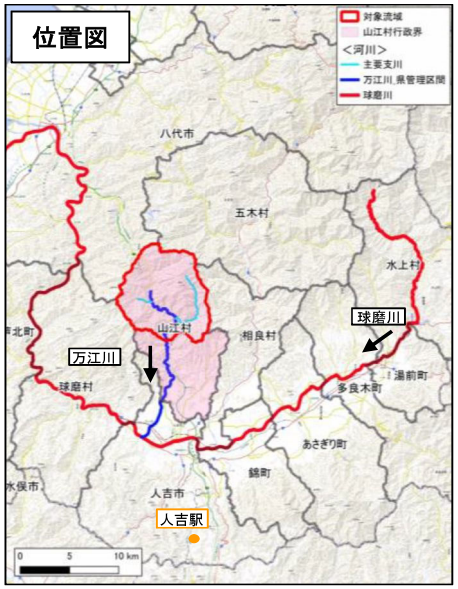
万江川での取組みを拡大

今後の展望

- 万江川での取組みをモデルとして、事業の進め方や検討内容を整理した「土砂・洪水氾濫対策検討ガイドライン（仮称）」を策定する。
- 土砂・洪水氾濫のリスクが高い流域において、ガイドラインを用いて検討を行う。
- 検討は、保全対象の規模等で整理した優先順位が高い流域から順次実施する。

事業概要

事業箇所：万江川（熊本県球磨郡山江村万江地内）
事業期間：１０年間（Ｒ４年～Ｒ１３年）
事業規模：約５８億円（堰堤４基、渓流保全工１５００ｍ）
（都道府県として、全国でも初めて取り組む事業）



万江川土砂・洪水氾濫対策検討委員会

委員会構成
　委員　　：学識者
　オブザーバー：関係自治体（国、県、市町村）
　事務局　　：県砂防課

・緑の流域治水として砂防・河川・治山事業が連携した対策を検討するにあたり、課題などに対する技術的助言・意見を得る

関係機関（砂防・河川・治山事業者など）との連携策の検討

資料２－４

R5.3.23 時点

白川水系の「流域治水」展開に向けた今後の取組み（案）

１.これまでの取組みと目的

令和２年９月２日に「白川・緑川水系流域治水協議会」を設立し、幹事会において情報共有や検討を重ね、令和３年３月３０日に『白川水系流域治水プロジェクト』を公表したところ。今後、流域治水の取り組みを幅広く展開していくために、先ずは白川水系におけるより効果的な「流域治水」の在り方について、白川水系の特徴や課題等について勉強会を実施し、関係機関の共通認識を図る。

【経緯】

・令和２年　９月　２日　第１回　白川・緑川水系流域治水協議会（幹事会合同）
・令和３年　３月１８日　第２回　〃　協議会
・令和４年　４月２６日　第３回　〃　協議会（県央対策合同）※書面開催
・令和５年　３月２３日　〃　幹事会（県央対策合同）

２.今後の展開及びスケジュール

Step1.関係自治体担当者（幹事会メンバー）を対象として以下の勉強会を開催し、情報共有を図る。

イ. 白川水系と水害の特徴
ロ. 気候変動による影響と流域治水の必要性
ハ. 河川整備計画による治水対策と超過洪水への備え

Step2.上記に併せて、協議会メンバーを対象とした勉強会やパネルトーク（意見交換）の開催についても検討。

【令和５年の予定】

R5.3　第５回　幹事会（今後の取組について説明・周知）
R5.4　第４回　協議会（今後の取組について確認）
R5.6　幹事会として第１回「白川水系流域治水勉強会」を開催
※テーマ「白川水系と水害の特徴」
R5.9　幹事会として第２回「白川水系流域治水勉強会」を開催
※テーマ「気候変動による影響と流域治水の必要性」
※有識者による講演会を想定
R5.12 幹事会として第３回「白川水系流域治水勉強会」を開催
※テーマ「河川整備計画による治水対策と超過洪水への備え」

３.今後の検討課題等

○河川協力団体や企業、一般住民等に対する取組み